

先進の個性

 Victor

ハイファイ
ビクターステレオHi-Fiビデオカセット-

HR-D725

ビデオはビクター VHS

ご愛用のしおり



ご使用前にこの“ご愛用のしおり”をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかについてお確かめください。

このたびはHR-D725を お買いあげいただき ありがとうございます。

このHR-D725は、原音に忠実なハイクオリティーサウンドで録音・再生ができる、Hi-Fi音声専用回転ヘッドを搭載しています。さらに映像ヘッドは、エクストラ4ヘッドを採用。録画・再生はもちろん、多彩なスピード再生をノイズの少ない美しい映像でお楽しみいただけます。加えて、ワイヤレスリモコン、簡易インサート、アフレコなど、便利な機能を装備。A/Vシステムの核となる、ハイグレードなVHS方式Hi-Fiビデオです。HR-D725の機能をフルに生かすため、この“ご愛用のしおり”をよくお読みいただき、末永くご愛用ください。



本機HR-D725は、VHS方式のビデオです。このマークのついたビデオカセット以外は使用できません。

ビデオカセットの種類

カセット	最長記録時間	
	SP(標準)モード	EP(3倍)モード
T-160	2時間40分	8時間
T-120	2時間	6時間
T-90	1時間30分	4時間30分
T-80	1時間20分	4時間
T-60	1時間	3時間
T-40	40分	2時間
T-30	30分	1時間30分
T-20	20分	1時間

このマークはドルビー研究所の登録商標です。本機はドルビー研究所からの実施権にもとづき製造されています。(ドルビーNR回路はノーマル音声のみ使用)

このマークは日本電子機械工業会が定めた音声多重のシンボルマークです。

- 本機の3倍モードで録画したビデオカセットは、標準モード専用のVHSビデオでは再生できませんので、ご注意ください。
- 本機でHi-Fi音声トラックに記録したHi-Fi音声は、Hi-FiビデオでないVHSビデオでは再生できません。
- 本機で、ノーマル音声トラックに2ヶ国語放送を録画したビデオカセットをモノラル音声のVHSビデオで再生すると、日本語と外国語(主音声と副音声)が混合されて聞こえますので、ご注意ください。
- 万一本機およびビデオカメラ、ビデオカセットテープ等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画(録音)されていることを確かめてください。
- あなたがテレビ放送やレコード、録画(録音)物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかには著作権法上、権利者に無断で使用できません。

特長

- ^{ハイファイ}Hi-Fi音声専用回転ヘッド搭載。高音質記録再生のVHS方式ステレオHi-Fiビデオ。
- ノーマル音声トラックのステレオ化により、従来のステレオビデオとの互換性を確保。
- エクストラ4ヘッド採用により、録画・再生画像はより鮮明。さらに標準モード、3倍モードでの静止画再生、ファインスローモーション、シャトルサーチなど、正逆可変速サーチが美しい映像で可能。
- スプリットキャリア方式音声多重チューナー搭載により、澄んだ音質での音声記録が可能。
- テレビ番組の録画と同時に、Hi-Fi音声トラックに外部からのFM放送などの音声を記録するサイマルキャスト記録が可能。
- 録画モード(標準・3倍)も予約できる2週間8プログラムタイマー内蔵。
- 30分単位での録画がワンタッチでできる、ワンタッチタイマー搭載。
- 録画済みテープにあとから映像、音声の記録ができる簡易インサート機構内蔵。
- 録画済みテープのノーマル音声をステレオで入れ換えられるアフレコ機構内蔵。
- ノーマル音声のヒスノイズを低減させるドルビーNR(ノイズリダクション)回路搭載。
- テープの残り時間がひと目でわかるテープ残量表示。
- ビデオカメラをダイレクトに接続できるカメラ端子装備。
- タイマー表示部の明/暗切替が可能。
- つなぎ録りのきれいなAEF機構搭載。
- テープの頭出しに便利なカウンターメモリー機構/頭出し機構内蔵。
- テープが終わると、自動的に巻戻すオートリワインド(自動巻戻し)機構内蔵。
- ダイナミックアパコン回路内蔵。
- 再生画像の画質調整が可能。

——など数々の特長を備えています。

もくじ

● 各部の名称	
(前面)	1~2
(前面)(タイマー表示部)(タイマー調整部)	3~4
(背面)	5
(ワイヤレスリモートコントローラー・付属)	6
● 時計の合わせかた(現在時刻をあわせる)	7
● 基本的な操作	8
カセットの入れかた/出しかた/巻戻し、早送りのしかた/本機を使わないときは	
● 本機のしくみ	
Hi-Fi録音について/本機の記録システムについて	9
入力切換スイッチと記録内容について/音声多重放送の記録について	10
● 音声モニターについて(音声を聞くと)	
本機の音声出力について/ミックスつまみについて	11
音声出力モニタースイッチについて/Hi-Fi音声記録レベルコントロールについて	12
● テレビ番組の録画	13~14
● 再生のしかた	15~16
シャトルサーチ再生・サーチ再生・静止画再生・テープのダビング(コピー)	
● サイマルキャスト記録について	17~18
● タイマー録画	19~20
● ワンタッチタイマー録画	21
● タイマー録画時のご注意	22
● カメラ録画	23~24
● 簡易インサート編集のしかた	25~26
● 便利な機構について	27~28
カウンター表示/カウンターメモリー/テープ残量表示/頭出し機構 /オートリワインド機構	
● アフレコのしかた	29~30
● 使用上のご注意	31~32
● 接続のしかた	33~34
A/V(オーディオ/ビデオ)入力端子付音声多重テレビの接続のしかた	35
一般のモノラルテレビとステレオ機器との接続のしかた	36
ヘッドホン端子の出力レベル切換えについて	
● チャンネルプリセットの合わせかた	37
スキップモードについて	38
チャンネルプリセットの例	39
● 仕様	40
● こんなときは	41~42
● 保証とアフターサービスについて	43
● 関連機器	44



ハイファイ
Hi-Fi

- ★ご使用の前に31~32ページの“使用上のご注意”を必ずお読みください。
★ご自分で設置されるときは33~39ページまでをよくお読みの上、設置してください。

1 各部の名称 (前面)

タイマー
〔TIMER〕スイッチ
タイマー録画予約をする時押します。
押されていない時は、タイマー録画できません。

電源
〔POWER〕スイッチ
押すと本機に電源が入り、ランプが点灯します。

ノイズリダクションランプ(NR)
ドルビー NR スイッチを「入」にすると点灯します。
(Hi-Fi 音声には関係ありません。)

カセット挿入口
カセットを入れると、ドアに●○マークが出ます。

標準 3倍
〔SP/EP〕ボタン
テープの録画時間を切替えるボタンです。押すとEP(3倍)モードになり、上のEPランプが点灯します。もう一度押すとSP(標準)モードになり、上のSPランプが点灯します。
T-120カセットを使えば、SPモードで2時間録画が可能。EPモードでは6時間録画が可能です。

ビデオ テレビ
〔VIDEO/TV〕ボタン
背面のRF出力端子の信号を切替えるボタンです。押すごとにボタンのランプが点灯したり、消えたりします。
点灯するとVIDEO側になり、RF出力端子からは録画、再生される信号を出力します(1か2チャンネルの電波として出力)。消えている時はTV側になり、VHFアンテナをそのまま出力しますので、接続のテレビはそのままテレビとして使えます。

カセット取出し
〔EJECT〕ボタン
カセットを取り出すとき押します。

ワイヤレスリモコン受信部

インサート
〔INSERT〕ボタン
録画済みカセットに、別の映像と音声を入れるとき使います。

停止
〔STOP〕ボタン
押すとテープの走行が停止します。

アフレコ
〔AUDIO DUB〕ボタン
ノーマル音声に、あとから別の音声を入れるときに再生ボタンと同時に押します。
(Hi-Fi 音声は不可)

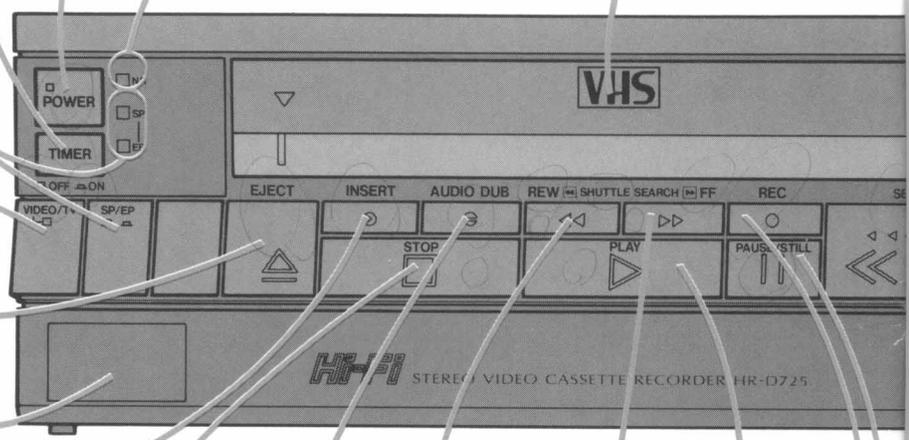
巻戻し
〔REW〕ボタン
テープを巻戻すとき押します。
再生中に押すと、押している間だけシャトルサーチ再生ができます。

早送り
〔FF〕ボタン
テープを早送りするとき押します。
再生中に押すと、押している間だけシャトルサーチ再生ができます。

再生
〔PLAY〕ボタン
録画済みカセットを再生するときに押します。録画をするときは、〔REC〕ボタンと同時に押します。

録画
〔REC〕ボタン
録画をするとき〔PLAY〕ボタンと同時に押します。

一時停止 静止
〔PAUSE/STILL〕ボタン
録画中に押すと、コマmercialなどのカットができます。再生中に押すと静止画再生ができます。通常の再生にするときは〔PLAY〕ボタンを押します。
静止画再生中に押すとコマ送りができます。



サーチ

■[SEARCH]再生のスピードについて

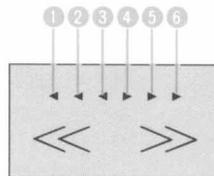
サーチ
[SEARCH]ボタン

再生中にこのボタンを押すと、早送り、巻戻し再生のスピードを変えることができます。

- 右側を押すと、早送り再生のスピードを変化させることができます。
 - 左側を押すと、巻戻し再生のスピードを変化させることができます。
- 通常の再生にするときは[PLAY]ボタンを押します。

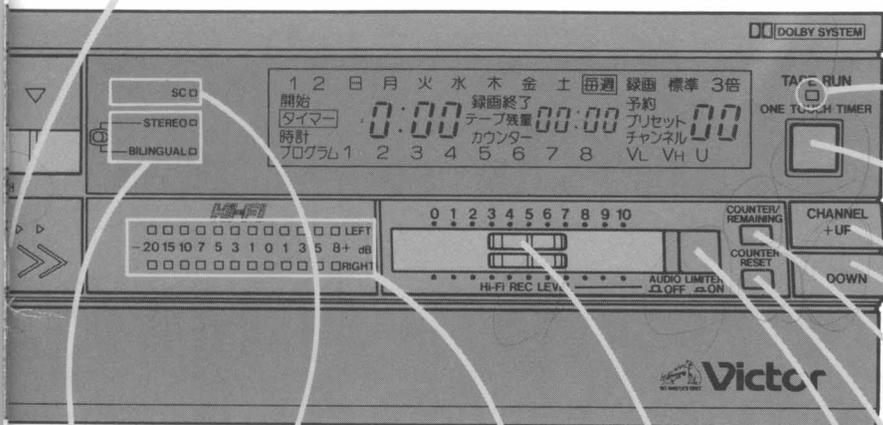
サーチ再生のスピードは、1/40、1/20、1/10、1/5(スローモーション再生)、1倍、3倍、5倍、7倍(スピード再生)に連続して変えることができます。サーチボタンを押し続けると、サーチ再生のスピードは、1/40～7倍まで連続して変わります。

LED表示で、サーチ再生中のテープ走行の方向(正・逆)、スピード(1/40～7倍)を知ることができます。



①～③のLEDが点灯しているときは、テープは逆方向に走行しています。

- ①5倍か7倍のスピードで走行しています。
 - ②1倍か3倍のスピードで走行しています。
 - ③1/40～1/5のスピードで走行しています。
- ④～⑥のLEDが点灯しているときは、テープは正方向に走行しています。
- ④1/40～1/5のスピードで走行しています。
 - ⑤1倍か3倍のスピードで走行しています。
 - ⑥5倍か7倍のスピードで走行しています。



テープ走行
[TAPE RUN]インジケータ
テープが走行をすると点滅します。

ワンタッチタイマー
[ONE TOUCH TIMER]ボタン
1回押すごとに30分毎の録画が可能です。

チャンネル
[CHANNEL]選局ボタン
テレビ番組録画時に希望の番組に合わせます。
「+UP」を押すとチャンネル数が上がります。
「-DOWN」を押すとチャンネル数が下がります。

カウンター テープ残量
[COUNTER/REMAINING]切換ボタン
表示部にカウンター表示あるいはテープ残量表示を出すことができます。押すごとにカウンター/テープ残量表示に切り替わります。

カウンターリセット
[COUNTER RESET]ボタン
押すと、カウンター表示を 0000 にリセットできます。

サイマルキャスト
[SC]ランプ
入力切換スイッチを[SC]にすると点灯します。

音声多重放送受信ランプ
STEREO…ステレオ放送を受信すると点灯します。
BILINGUAL…二重音声(2ヶ国語)放送を受信すると点灯します。

Hi-Fi音声レベルコントロール

ハイファイ音声
[Hi-Fi]レベルメーター

手動でHi-Fi録音の録音レベルを調整するときは、[Hi-Fi REC LEVEL]ボリュームでこのメーターを見て最大レベルが0dB付近になるように合わせます。再生のときは録音されたレベルを示します。

[AUDIO LIMITER]スイッチが、「ON」の時はレベルメーターは点灯しません。

ハイファイ録音レベル
[Hi-Fi] REC LEVEL)ボリューム

[AUDIO LIMITER]スイッチが、「OFF」の時、このつまみでHi-Fi音声の録音レベルを調整することができます。上がLEFT[左]の音声、下がRIGHT[右]の音声レベル調整です。
[Hi-Fi]レベルメーターを見て、最大レベルが0dB付近になるよう調整します。(赤いLED表示がひとつ点灯するぐらい)

オーディオリミッター
[AUDIO LIMITER]スイッチ

「ON」にすると、Hi-Fi音声の録音レベルは自動的に調整されます。この時、[Hi-Fi]レベルメーターは点灯しません。

「OFF」にすると、手動でHi-Fi音声の録音レベルを調整することができます。調整は[Hi-Fi REC LEVEL]ボリュームでできます。この時、[Hi-Fi]レベルメーターが点灯しますので、最大レベルを0dB付近に合わせてください。

テープ残量切換スイッチ

テープ残量を調べる時、テープの種類によって切換えます。

T-120 …… T-120より短いテープの時
T-160 …… T-160を使うとき

メモリスイッチ

テープの頭出しに使います。

- ・カウンター…カウンターメモリーができます。
- ・頭出し…録画のはじめの部分さをがすとき、この位置にします。
- ・切…動きません。

入力切換スイッチ

どの信号を記録するのかわるスイッチです。

- ・チューナー…テレビの録画時
- ・SC…サイマルキャスト記録時
- ・AUX…外部入力からの信号を記録する時
- ・カメラ…カメラ録画時

マイク端子

マイクを接続して、録音できます。マイク端子のL(左)だけにマイクを接続すると自動的にL(左)とR(右)に同じマイクの音が入ります。L(左)とR(右)にそれぞれマイクを接続するとステレオ録音できます。R(右)に接続するとR(右)だけにマイクの音が入ります。

ヘッドホン端子(標準ステレオジャック)

録音状態のモニターや1人でステレオサウンドを楽しむことができます。また、底面のスイッチによって音量切換もできます。

ドルビーNRスイッチ(ノーマル音声用)

ノーマル音声用のノイズリダクションスイッチです。テープヒスノイズの少ない音質で録音できます。入にして記録したテープを再生する時は再生時も入にします。(Hi-Fi音声には関係ありません)

アフレコスイッチ(ノーマル音声用)

録画済みテープに後から音声だけを記録するとき、ノーマル音声のどちらの音に記録するかを選びます。

L…L側(左)の音にアフレコ可
L/R…両方の音にアフレコ可
R…R側(右)の音にアフレコ可
簡易インサート編集時にLにすると、ノーマル音声には音声のインサートができません。

音声出力モニタースイッチ

2ヶ国語放送やステレオ放送を聞くとき、このスイッチで選びます。

主(L)…2ヶ国語放送の主音声聞くとき

ステレオ…ステレオ放送を聞くとき
副(R)…2ヶ国語放送の副音声聞くとき

ミックスつまみ

ノーマル音声聞くのか、Hi-Fi音声を聞くのか、あるいはそれらをミックスで聞くのかを調整できます。右にまわせばHi-Fi音声、左にまわせばノーマル音声、中間はミックス(混合)されて聞こえます。

※ノーマル音声とHi-Fi音声に同じ音声を記録したテープを再生するときは、右か左に、いっばいにまわしてください。(ミックスで聞くと、若干の音声の時間ズレが生じ聞きづらくなります)

トラッキング再生つまみ

通常の再生時に画面にノイズがでる時調整します。

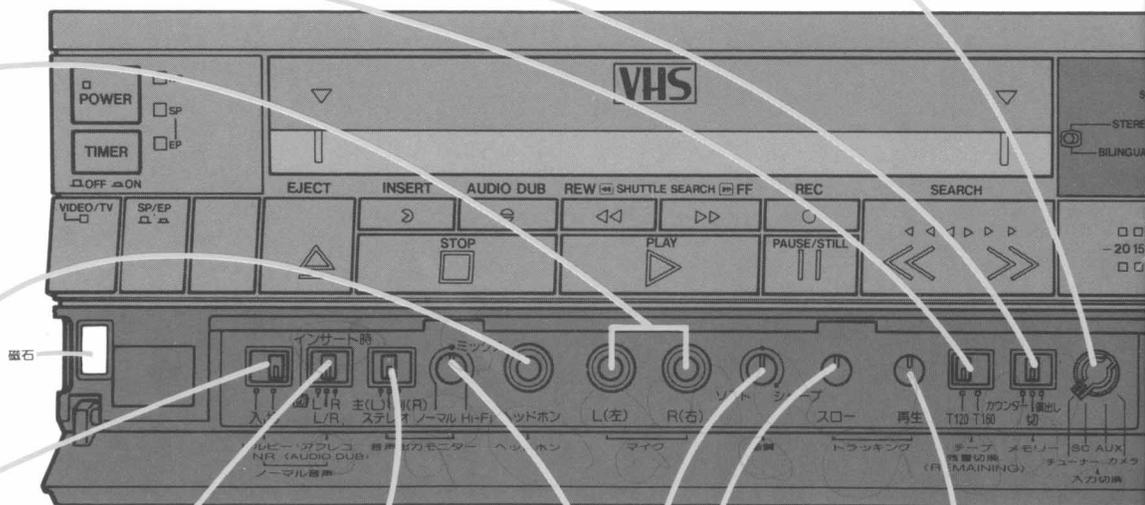
また、Hi-Fi音声にノイズが入ったり、音がとんだりする時調整します。

トラッキングスローつまみ

スローモーション再生時に、画面にノイズがでる時調整します。

画質つまみ

再生時に、このつまみで画質調整ができます。(録画時には関係ありません)



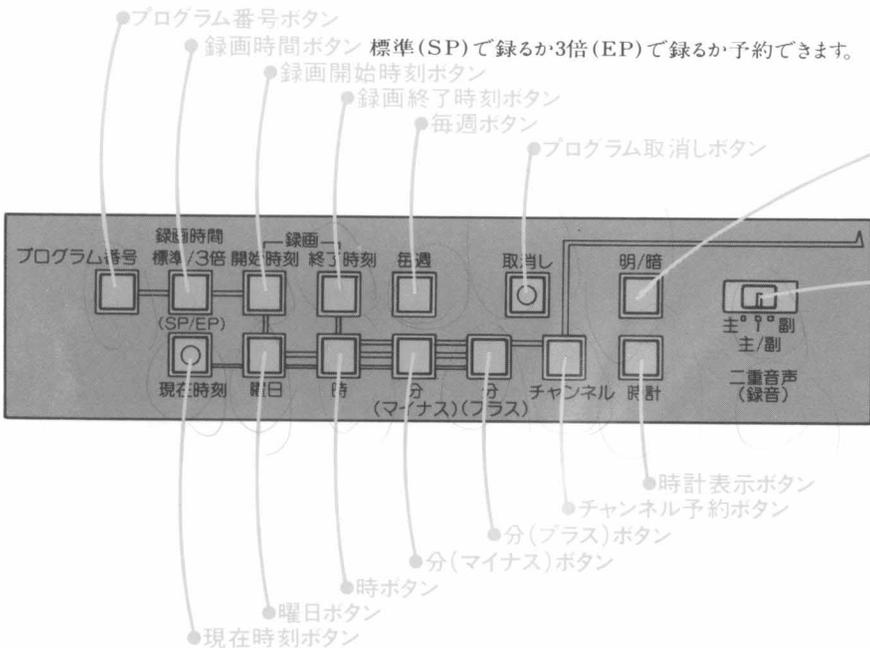


タイマー表示部

タイマー調整部

この部分は磁石になっています。ビデオカセットやオーディオカセットテープなどは近づけないように注意してください。

押すとタイマー調整部が出てきます。しもうときは指で押してください。



明/暗スイッチ
タイマー表示部の明るさを変えます。一回押すごとに明るくなったり、暗くなったりします。

二重音声(録音)切換スイッチ
二重音声(2ヶ国語)放送を記録するとき、記録する音を選びます。
● 主……………日本語だけを記録するとき
● 主/副……………日本語と外国語を記録するとき
● 副……………外国語だけを記録するとき

5 各部の名称 (背面)

ダイナミックアバコンスイッチ
工場出荷時は「入」になっています。放送電波が弱い地域(画像がざらついている状態)での録画では「切」にしたほうが見やすくなる場合があります。録画したカセットを再生して、画像がざらざら(雨が降っているような状態)しているときは「切」にしてください。

UHFアンテナ入力端子
UHFアンテナを接続します。

ビデオ出力端子(ピンプラグ)
本機で録画・再生する映像信号が出力されます。

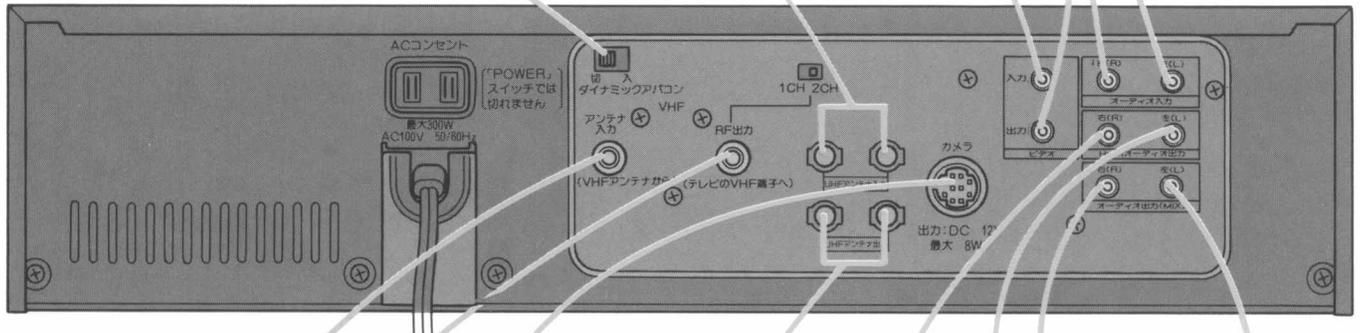
ビデオ入力端子(ピンプラグ)
他のビデオ機器の映像信号出力をこの端子に接続します。

右(R)オーディオ入力端子(ピンプラグ)

左(L)オーディオ入力端子(ピンプラグ)

記録したい音声信号を接続します。(テープレコーダー、FMチューナーなど)

背面



VHFアンテナ入力端子
VHFアンテナを接続します。

VHFアンテナ(RF)出力端子
付属のVHFケーブルでテレビのVHFアンテナ端子と接続します。

カメラ端子
ビデオカメラを直接接続できます。(消費電力が8Wまでのカメラ用)

UHFアンテナ出力端子
付属のUHFケーブルでテレビのUHFアンテナ端子と接続します。

右(R)Hi-Fiオーディオ出力端子 (ピンプラグ)

左(L)Hi-Fiオーディオ出力端子 (ピンプラグ)

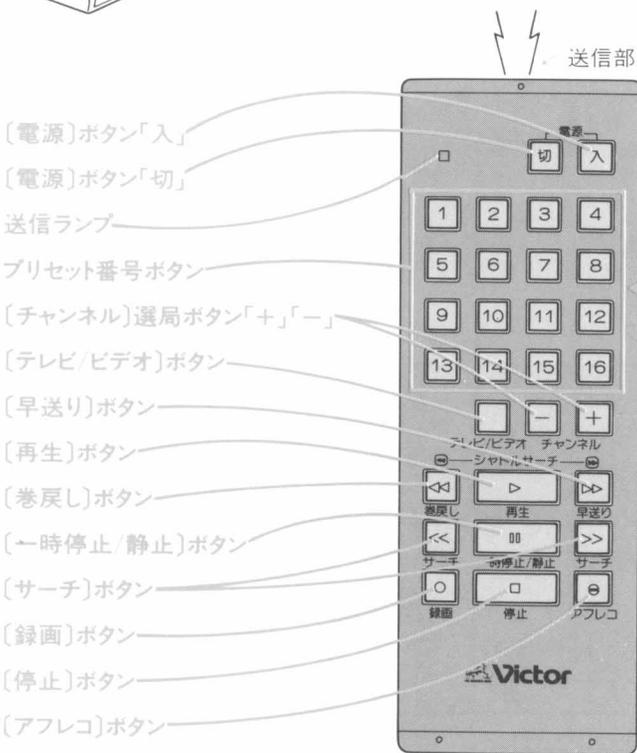
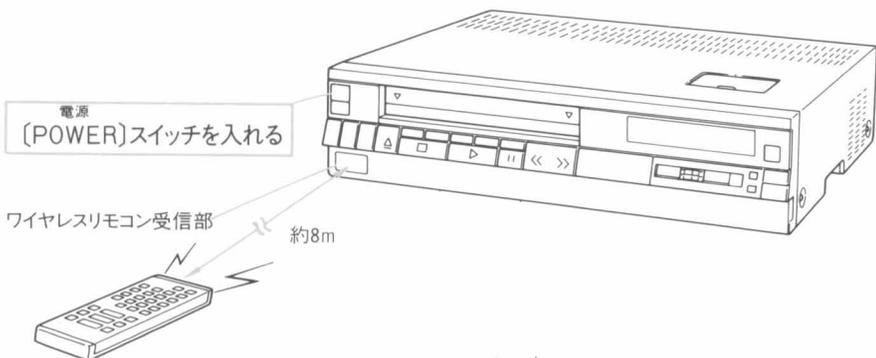
Hi-Fi音声トラックの音声信号のみを出力します。

左(L)オーディオミックス出力端子 (ピンプラグ)

右(R)オーディオミックス出力端子 (ピンプラグ)

Hi-Fi音声トラックやノーマル音声トラックの音声信号を前面のミックスつまみで選択して出力させることができます。

ワイヤレスリモコンを使って、離れた場所(約8m以内)からボタンを押すだけで本機を操作することができます。



プリセット番号ボタンについて

1~16のボタンを押すことによって、ダイレクトにビデオのチャンネルを呼び出すことができます。ただし、ボタンに記入してある数字はプリセット番号ですので、プリセット番号と、設定されているチャンネル数が異なる場合(たとえば、プリセット番号4が6チャンネルを受信している場合)がありますのでご注意ください。くわしくは、37ページの「チャンネルプリセットの合わせかた」をご覧ください。

乾電池の入れかたについて

1 裏側のフタを手前にスライドさせて
はずす

2 乾電池(単三2個)を正しく図のようにして
入れる

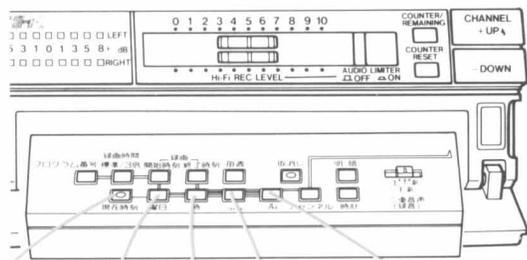
3 カチッと音がするまでフタを
押しこむ

- ★ワイヤレスリモコンで操作するときは、本機の[POWER]スイッチを入れてください。
- ★ワイヤレスリモコンで電源を「切」にして、再び電源を「入」にするときはワイヤレスリモコンで「入」にするか本機の[POWER]スイッチを一度切ってから再び入れてください。
- ★リモコン操作ができる距離が短くなってきたり、送信ランプが暗くなってきたら電池が消耗してきています。新しい電池に交換してください。
- ★本機には単三乾電池(UM-3)型をご使用ください。乾電池の誤まった使いかたをしますと「液もれ」や「破裂」する危険がありますので、次のことにご注意ください。
- 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがありますから、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火の中に投入しないでください。
- 長期間ご使用にならない時は、乾電池の「液もれ」が原因で故障になる場合がありますので、乾電池を取り出しておいてください。
- ★本機付属のリモコンで操作中にテレビや他のVTRなどが動作する場合があります。そんな時は、設置場所を移動し、リモコンがテレビなどに向かないようにしてください。

- 落としたり、強いショックをあたえないでください。
- 内部に、水など液体がこぼれないよう注意してください。
- 本機に重いものをのせたり、ふんだりしないでください。
- 直射日光のあたる所や暖房器のそばなど温度のあがるところにはおかないでください。

7 時計の合わせかた(現在時刻をあわせる)

本機にはじめて電源が入ると、時計表示は 0:00 が点滅します。時刻を合わせると正常な表示をします。本機は24時間デジタル表示式です。時計合わせは、現在時刻ボタンを押したまま、曜日、時、分ボタンでそれぞれ合わせます。



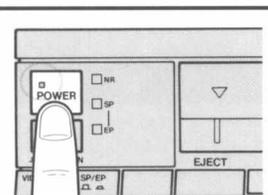
- 現在時刻ボタン
- 曜日ボタン
- 時ボタン
- 分(マイナス)ボタン
- 分(プラス)ボタン



時計表示 "時"表示 "分"表示

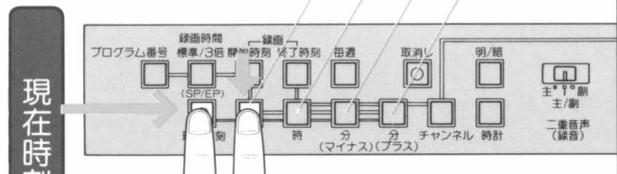
● 操作時は[TIMER]スイッチを「OFF」にします。

1 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
[POWER]ランプが点灯



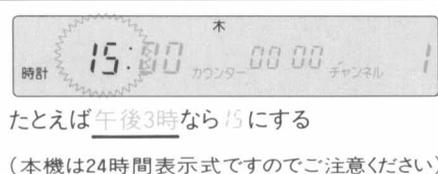
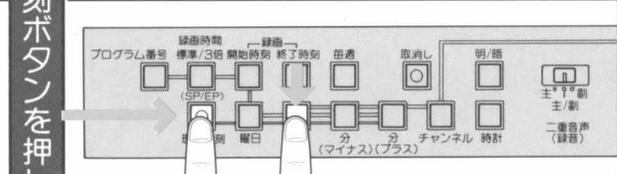
- "曜日" "時" "分(マイナス)" "分(プラス)" ボタンは1回押すごとに、1つだけ表示が変わります。
- 押しつづけると連続的に変わります。

2 曜日ボタンで "曜日" を合わせる



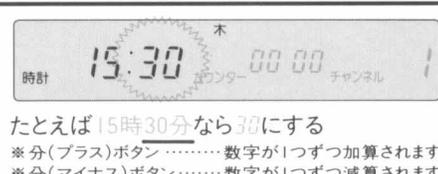
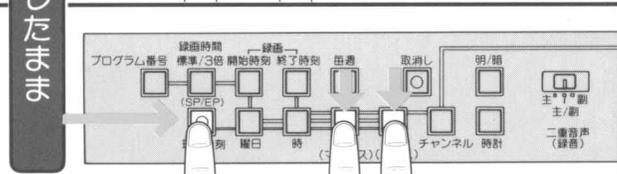
たとえば本日が木曜日なら木にする

3 時ボタンで "時" を合わせる



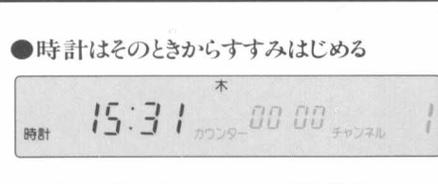
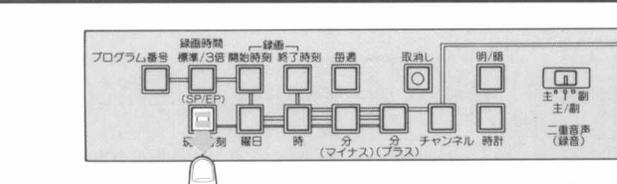
たとえば午後3時なら15にする
(本機は24時間表示式ですのでご注意ください)

4 分(マイナス)、分(プラス)ボタンで "分" を合わせる



たとえば15時30分なら30にする
※分(プラス)ボタン……数字が1つずつ加算されます
※分(マイナス)ボタン……数字が1つずつ減算されます

5 現在時刻ボタンを離すと、そこから時計が進みはじめます。



- 時計はそのときからすすみはじめる

ご注意
時計合わせは[TIMER]スイッチが「ON」の状態ではできません。「OFF」にしてください。

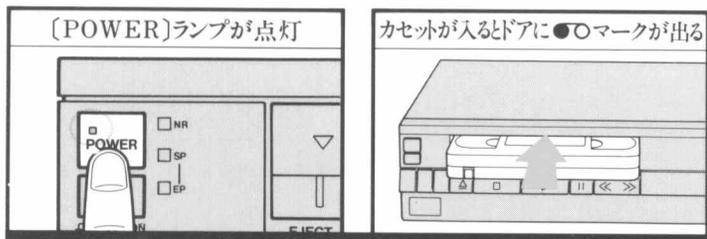
★停電のときは
表示部が点滅しているときは、停電があったことを示します。再び時計合わせをしてください。約10分以内の停電は、本機停電補償回路が作動しますので時計はくるとは、時計表示はされませんが、時計表示はされませんからご注意ください。

★正確に時計を合わせるには
テレビの時刻表示やラジオの時報などを利用すると正確に時刻を合わせることができます。

●操作時は(TIMER)スイッチを「OFF」にします。

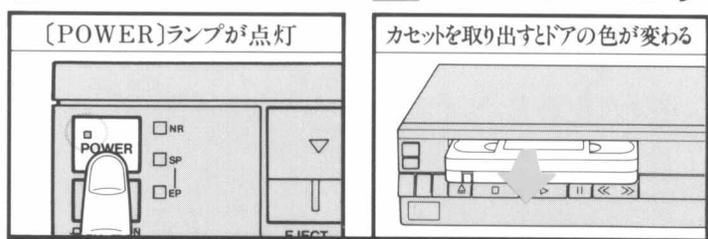
カセットの入れかた

- 1 電源 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
- 2 カセット挿入口よりカセットを正しく入れる

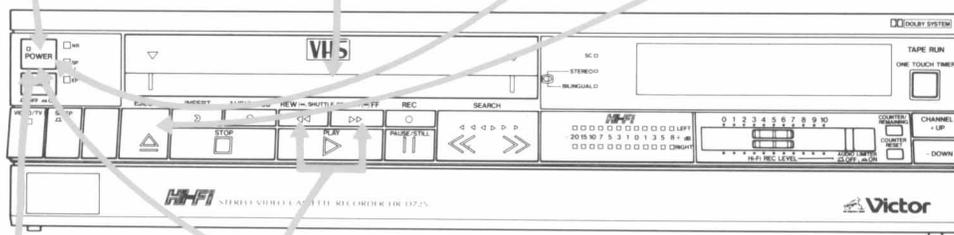


カセットの出しかた

- 1 電源 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
- 2 カセット取出し (EJECT) ボタンを押してカセットを取り出す



- カセットに表示してある矢印にしたがって入れてください。うら返しでは使えません。
- 録画をするときは、ツメのついたカセットをご使用ください。
- カセット挿入口のドアに●○マークがあるときはカセットが入っている時です。



ご注意

- カセット挿入口からビデオカセット以外の物を入れないでください。故障や事故の原因になります。
- テープを走行させないでカセットを何回も出し入れしないでください。テープをいためることがあります。

カセットの早送り、巻戻し

- 1 電源 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
- 2 早送り (FF)ボタンあるいは巻戻し (REW)ボタンを押す



本機を使わないときは

- 1 電源 (POWER)スイッチを押して電源を切る
- 2 テレビのチャンネルを見たい番組に合わせる



- 再生中に[FF]ボタン/[REW]ボタンを押すとシャトルサーチ再生になります。テープを早送り/巻戻しするときは、(STOP)ボタンを押してからおこなってください。

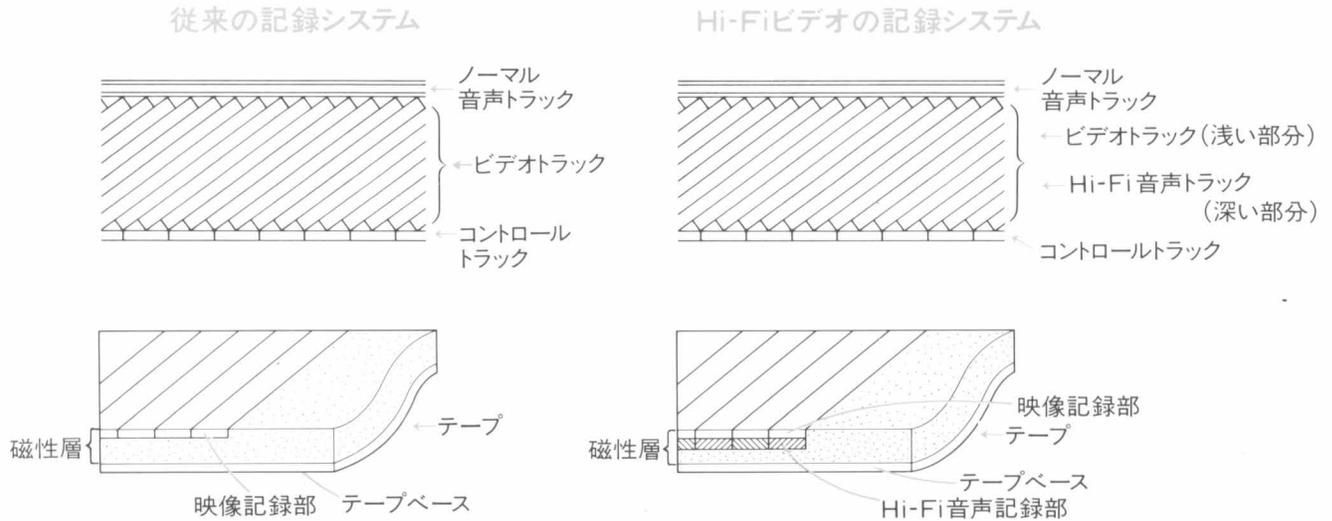
9 本機のおしくみ

ハイファイ

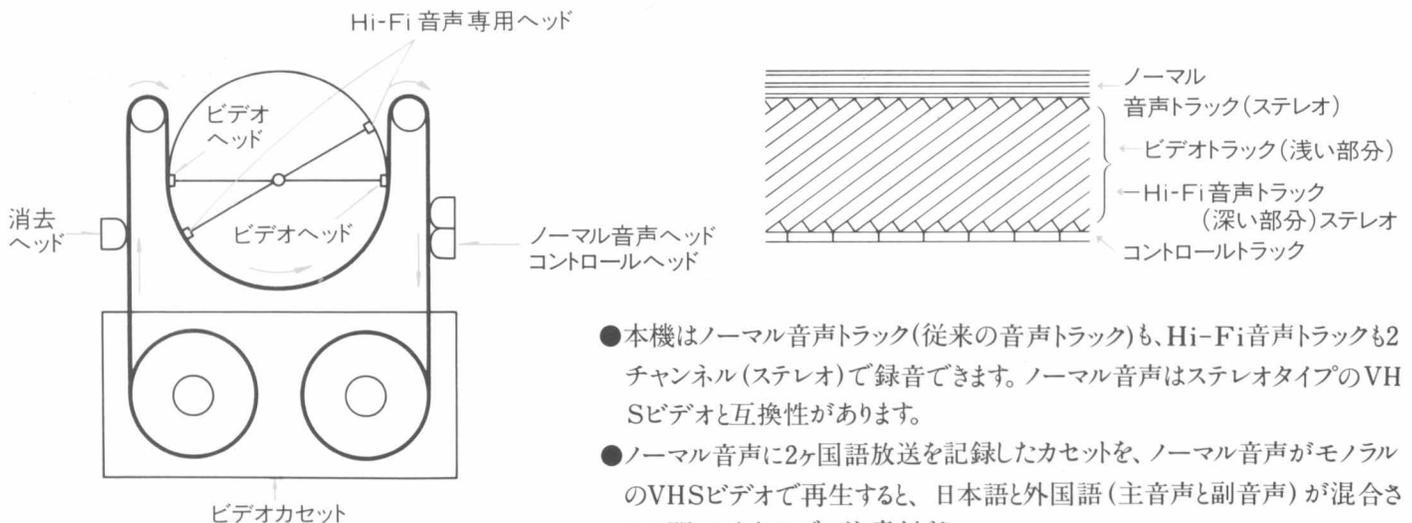
●Hi-Fi録音について

本機はHi-Fi音声専用の回転ヘッドを備えた、VHS方式のHi-Fiビデオです。

Hi-Fi音声専用の回転ヘッドを使って、従来、映像信号だけを記録していた部分(ビデオトラック)の奥深い磁性層に音声信号を周波数変調(FM)して記録します。



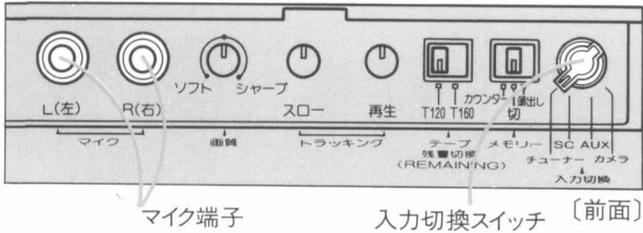
●本機の記録システム



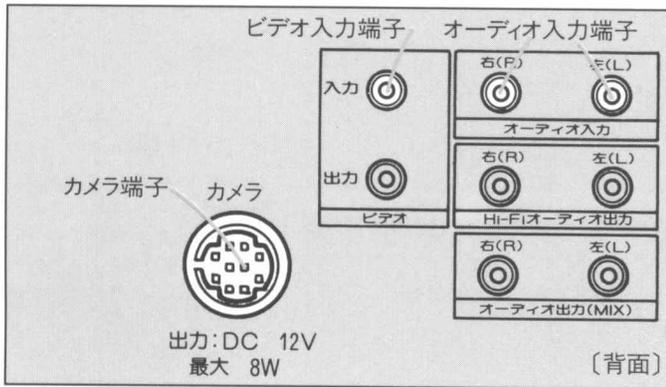
- 本機はノーマル音声トラック(従来の音声トラック)も、Hi-Fi音声トラックも2チャンネル(ステレオ)で録音できます。ノーマル音声はステレオタイプのVHSビデオと互換性があります。
- ノーマル音声に2ヶ国語放送を記録したカセットを、ノーマル音声がモノラルのVHSビデオで再生すると、日本語と外国語(主音声と副音声)が混合されて聞こえますのでご注意ください。

- 録画済みカセットに後から音声だけを記録するアフレコは、ノーマル音声のみできます。Hi-Fi音声はアフレコできません。

●入力切換スイッチと記録内容について



マイク端子 入力切換スイッチ (前面)



(背面)

入力切換スイッチの位置	記録される信号		
	ビデオトラック	ノーマル音声トラック	Hi-Fi音声トラック
チューナー	チューナー(テレビ番組)からの映像	チューナーからの音声(マイク混合)	
サイマルキャストSC	チューナーからの映像	チューナーからの音声	オーディオ入力端子からの音声(マイク混合)
AUX	ビデオ入力端子からの映像	オーディオ入力端子からの音声(マイク混合)	
カメラ	カメラ端子からの映像	カメラ端子からの音声(マイク混合)	

★マイク端子にマイクを接続すると、マイクの音が混合されてノーマル音声トラックやHi-Fi音声トラックに記録されますのでご注意ください。ただし、サイマルキャスト時のノーマル音声トラックにはマイクの音は記録できません。

マイク端子のL(左)だけにマイクを接続すると、L(左)とR(右)に同じマイクの音が入ります。R(右)だけに接続するとR(右)に音が入ります。ステレオで録音する時は、L(左)とR(右)にそれぞれマイクを接続してください。

★本機をテープレコーダーの代わりにご使用になる場合(映像は記録せず音声だけを記録する)は、入力切換スイッチを「AUX」にしてください。その時は背面のオーディオ入力端子に記録したい音声(FMチューナーや他のオーディオ機器)を接続してください。

●音声多重放送の記録について

- 本機は音声多重チューナーを内蔵していますので音声多重放送(2ヶ国語放送、ステレオ放送)が記録できます。音声多重放送を受信すると音声多重放送受信ランプが点灯します。

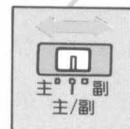
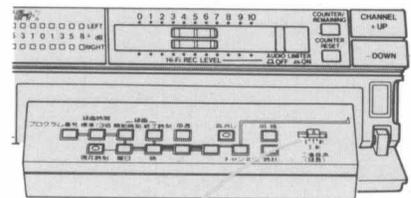
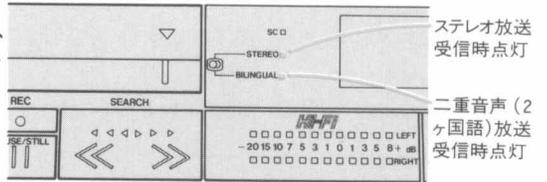
二重音声(録音)切換スイッチについて

- ステレオ放送やモノラル放送は自動的にステレオやモノラルで記録しますが、二重音声(2ヶ国語)放送を記録する時は、二重音声(録音)切換スイッチで記録したい音声を選んで記録することができます。

主……日本語(主音声)だけをノーマル音声トラックやHi-Fi音声トラックに記録する。

主/副……日本語と外国語(主音声と副音声)をノーマル音声トラックやHi-Fi音声トラックに記録する。

副……外国語(副音声)だけをノーマル音声トラックやHi-Fi音声トラックに記録する。



★二重音声(録音)切換スイッチは、入力切換スイッチが「チューナー」の時のノーマル音声トラックと、Hi-Fi音声トラックの音声記録および「SC」の時のノーマル音声トラックへ記録するテレビ番組の音声

を選ぶスイッチです。入力切換スイッチが「AUX」あるいは「カメラ」の時は、このスイッチははたらきません。

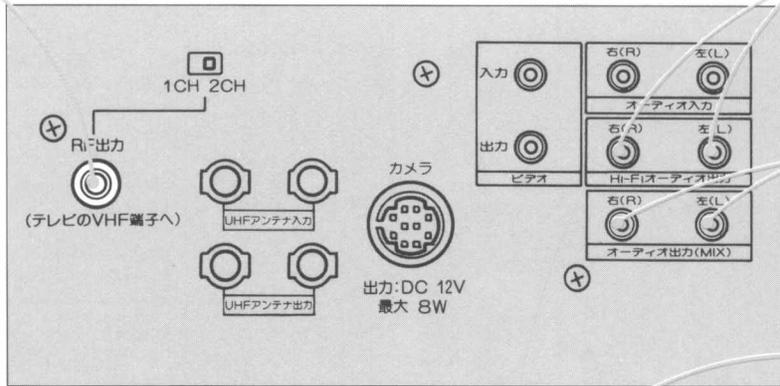
11 音声モニターについて(音声を聞くと)

●本機の音声出力について

RF出力端子

音声信号と映像信号を放送電波に変換して出力します。

- 2ヶ国語放送を記録したカセットを再生するときは、音声出力モニタースイッチで主音声(日本語)、副音声(外国語)のいずれかを選んでください。(ステレオに合わせると、主音声と副音声混ざって聞こえます。



Hi-Fiオーディオ出力端子

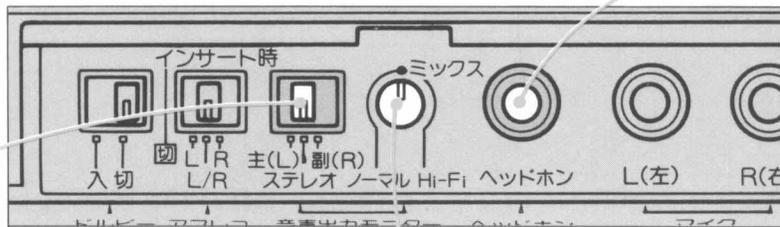
Hi-Fi音声トラックの音声信号のみを出力します。

オーディオミックス出力端子

ノーマル音声トラックおよびHi-Fi音声トラックの音声信号を出力します。

ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続して、まわりに迷惑をかけずにステレオサウンドを楽しめます。音量が大きい時は、出力レベルをさげることができます。(くわしくは30ページをご覧ください)



音声出力モニタースイッチ

主(L)・ステレオ・副(R)のうち、聞きたい音声を選べます。
Hi-Fiオーディオ出力端子を除く音声出力端子すべてに働きます。

ミックスつまみ

ノーマル音声トラック、Hi-Fi音声トラックのうち、聞きたい音声を選べます。両方のトラックの音声をミックスして聞くこともできます。Hi-Fiオーディオ出力端子を除く音声出力端子すべてに働きます。

※Hi-Fiオーディオ出力端子は、ミックスつまみや音声出力モニタースイッチに関係なくHi-Fi音声トラックに記録された音がそのまま再生されますのでご注意ください。

●ミックスつまみについて



ノーマル音声トラックやHi-Fi音声トラックに音声多重放送を記録したカセットを再生するときや、記録の音声チェックをするときは、音声出力モニタースイッチで聞きたい音声を選びます。

- ノーマル音声だけを聞く場合は、左へいっぱいまわします。
- Hi-Fi音声だけを聞く場合は、右へいっぱいまわします。
- ミックスつまみが中間にある場合は、ノーマル音声とHi-Fi音声ミックス(混合)されて聞こえます。

※このつまみは記録時、再生時ともにはたらかず、記録される内容には影響しません。

※ノーマル音声トラックとHi-Fi音声トラックに同じ音を記録したテープを再生する時は、このつまみを右か左にいっぱいまわしてください(ミックスで聞くと若干の時間ズレを生じます)

※Hi-Fiオーディオ出力端子からは、このつまみに関係なくHi-Fi音声トラックの音声が出力されます。

●音声出力モニタースイッチについて



2ヶ国語放送やステレオ放送を聞くときにはこのスイッチで選びます。

- 主(L)……………2ヶ国語放送の主音声あるいはステレオ放送のL(左)の音を聞くとき。
- ステレオ……………ステレオ放送を聞くとき。
- 副(R)……………2ヶ国語放送の副音声あるいはステレオ放送のR(右)の音を聞くとき。

※このスイッチは記録時、再生時ともにはたらかますが、記録される内容には影響しません。

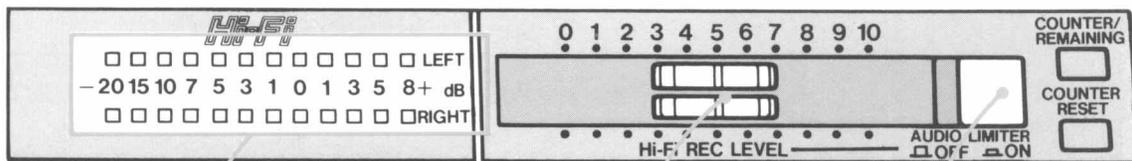
※Hi-Fiオーディオ出力端子からは、このスイッチに関係なくHi-Fi音声トラックの音声そのまま出力されます。

ハイファイ

●Hi-Fi音声録音レベルコントロールについて

本機にはノーマル音声とHi-Fi音声があります。ノーマル音声は自動録音されます。Hi-Fi音声は自動録音もできますが、マニュアル(手動)調整をすることもできます。

※ノーマル音声はマニュアル(手動)調整することができません。



ハイファイ音声

●(Hi-Fi)レベルメーター

手動でHi-Fi音声の録音レベルを調整するときは、(Hi-Fi REC LEVEL)ボリュームでこのメーターを見て、最大レベルが0dB付近になるように合わせます。

再生のときは、Hi-Fi音声トラックに録音されたレベルを示します。

(AUDIO LIMITER)スイッチが「ON」のときはレベルメーターは点灯しません。

録音レベル

●(Hi-Fi REC LEVEL)ボリューム

(AUDIO LIMITER)スイッチが「OFF」のとき、このつまみでHi-Fi音声の録音レベルを調整することができます。上がLEFT(左)の音声、下がRIGHT(右)の音声レベル調整です。

音声レベルメーターを見て、最大レベルが0dB付近になるように調整します。(赤いLEDがひとつ点灯するぐらい)

オーディオリミッター

●(AUDIO LIMITER)スイッチ

「ON」にすると、Hi-Fi音声の録音レベルは自動的に調整されます。このとき、レベルメーターは点灯しません。

「OFF」にすると、手動でHi-Fi音声の録音レベルを調整することができます。調整は(Hi-Fi REC LEVEL)ボリュームでできます。

(ノーマル音声の録音レベルはこのスイッチに関係なく自動調整されます)

13 テレビ番組の録画

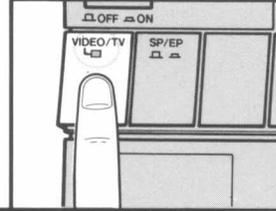
Hi-Fi音声トラックとノーマル音声トラックにテレビ番組の音声記録されます。ビデオトラックにはテレビ番組の映像が記録されます。

●操作時は(TIMER)スイッチを「**切**」にします。

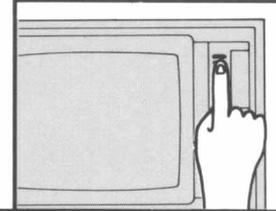
1 電源 (POWER)スイッチを押して電源を入れる



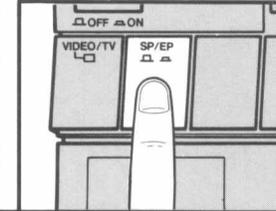
2 ビデオ テレビ (VIDEO/TV) ボタンを押してビデオランプを点灯させる



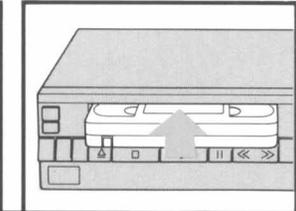
3 テレビのチャンネルを (1)が(2)にする



4 (SP/EP) ボタンで録画時間を 選ぶ



5 ツメのついたカセットを正しく 入れる



A/V入力端子付テレビと接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをビデオにする。

A/V入力端子付テレビの場合には必要ありません。

〔SP/EP〕ボタンを押すことによるSPランプとEPランプが交互に点灯します。
 SPランプ点灯時…標準モードです。T-120カセットで2時間録画できます。
 EPランプ点灯時…3倍モードです。T-120カセットで6時間録画できます。

●本機のSP/EPボタンについて

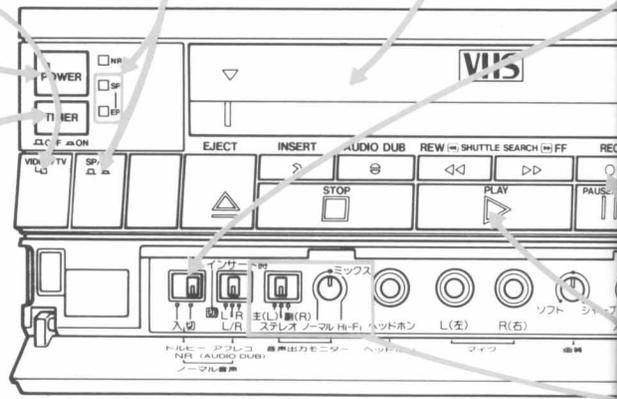
本機には録画時間を切換えられるSP/EPボタンがあり、「標準モード」と「3倍モード」が選べます。

SP(標準)モード ビデオカセットT-160を使用すれば、最大2時間40分まで録画することができます。大切に保存したい番組や音楽番組などは「標準モード」で録画することをおすすめします。

EP(3倍)モード ビデオカセットT-160を使用すれば、最大8時間まで録画できます。長時間ドラマや映画、特別番組などの録画に便利です。なお「3倍モード」で録画したものは、標準モード専用のVHSビデオでは再生できませんのでご注意ください。

カセット	最長記録時間	
	SP(標準)モード	EP(3倍)モード
T-160	2時間40分	8時間
T-120	2時間	6時間
T-90	1時間30分	4時間30分
T-80	1時間20分	4時間
T-60	1時間	3時間
T-40	40分	2時間
T-30	30分	1時間30分
T-20	20分	1時間

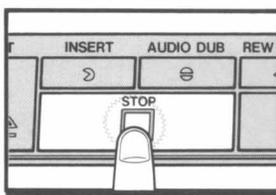
切
〔OFF〕にする



- ビデオカセットの途中まで録画し、停止状態にした後、ふたたびそこから録画を開始すると、前に記録した終わりの部分が消され、新しい映像や音声記録されますのでご注意ください。
- 録画中はチャンネルが変えられません。チャンネルを変更する場合は、〔PAUSE/STILL〕ボタンを押してから変えてください。
- 一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止状態になります。
- 一時停止を利用して録画した場合は、画面のつなぎ部分で一瞬カラーノイズが出るがありますが、性能上の問題で故障ではありません。
- テープが終りまできるとオートリワインド機構がはたらき、自動的に巻戻しを始めます。(くわしくは28ページをご覧ください。)
- マイクを接続するとマイクの音が混合されて記録されますのでご注意ください。

録画をやめる場合

一時停止 (STOP)ボタンを押す

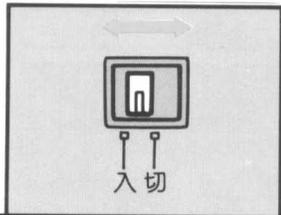


コマーシャルなどをカットしたい場合

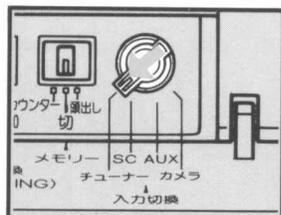
一時停止 (PAUSE/STILL) ボタンを押す
 静止 (PAUSE/STILL) ボタンを押す
 ふたたび録画をするときは再生 (PLAY)ボタンを押す



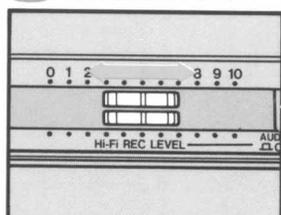
6 ドルビーNRスイッチを必要により「入」または「切」にする



7 入力切換スイッチを「チューナー」にする



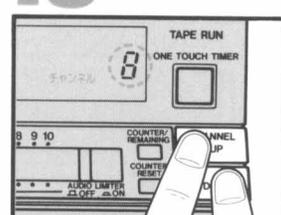
8 Hi-Fi 音声の録音レベルを調整する
(くわしくは12ページ) をご覧ください。



9 二重音声(2ヶ国語)放送を記録するときは二重音声(録音)切換スイッチで記録する音声を選ぶ



10 録画したいチャンネルに合わせる



- 「入」で録音するとノーマル音声のテープノイズを減少させます。
- 「入」で録音したノーマル音声トラックの音声を再生する場合は、再生時も「入」にします。

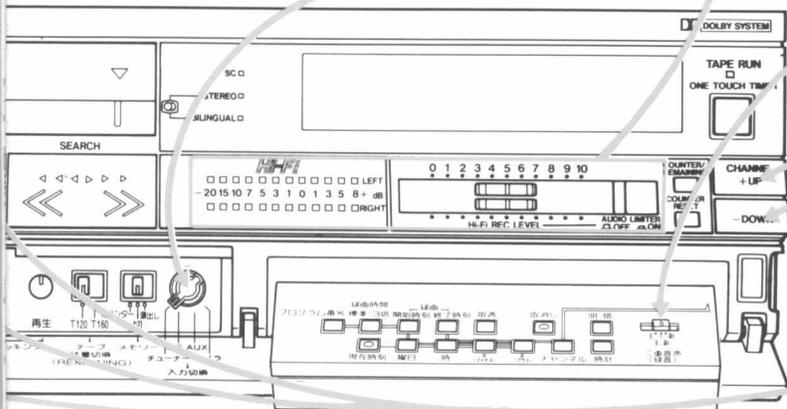
[AUDIO LIMITER]スイッチが「ON」のときは、自動的にレベル調整されます。このとき、[Hi-Fi]レベルメータは点灯しません。

- 主……日本語や主音声だけを記録するとき
- 主/副……日本語と外国語、あるいは主音声と副音声を同時に記録するとき
- 副……外国語や副音声だけを記録するとき

11 録画(REC)ボタンと再生(PLAY)ボタンを同時に押す



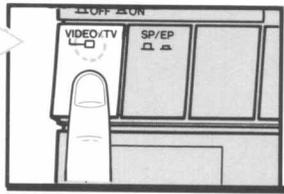
12 音声出力モニタースイッチとミックスつまみで聞きたい音声を選ぶ



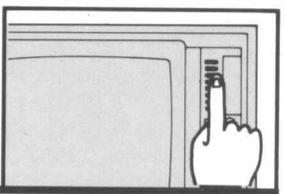
うら番組録画とは……見たい番組をテレビで見ながら同時に別のチャンネル(これをうら番組といいます)をビデオで録画することをいいます。1~12までの操作をしてから

うら番組録画

13 ビデオ テレビ (VIDEO/TV)ボタンを押してビデオランプを消す



14 テレビのチャンネルを見たい番組に合わせる

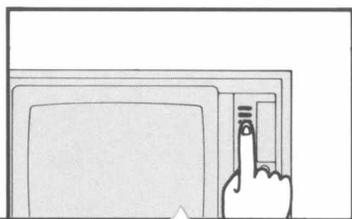
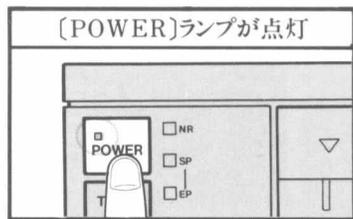


A/V入力端子付テレビと接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをテレビにする

15 再生のしかた

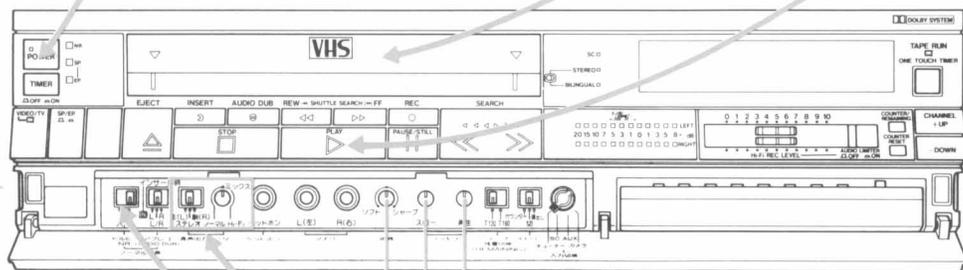
●操作時は[TIMER]スイッチを「**切**」にします。

- 1 (POWER) スイッチを押して電源を入れる
- 2 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)か(2)にする
- 3 録画ずみカセットを正しく入れる
- 4 再生(PLAY)ボタンを押す



A/V入力端子付テレビと接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをビデオにする。

- 5 音声出力モニタースイッチとミックスつまみで聞きたい音声を選ぶ



画質つまみ
トラッキング再生つまみ
トラッキングスローつまみ

主(L) 副(R)
ステレオ

主(L)……2ヶ国語放送の主音声
を聞くととき
ステレオ……ステレオ放送を聞くととき
副(R)……2ヶ国語放送の副音声
を聞くととき

ミックス

ノーマル Hi-Fi

- 右にまわせばHi-Fi音声
- 左にまわせばノーマル音声
- 中間はミックス(混合)音声

トラッキング再生つまみ

通常の再生時にノイズが出るときや、Hi-Fi音声にノイズが入ったり音がとんでしまうときは、「トラッキング再生つまみ」を左右にゆっくりまわし、ノイズがなくなるように調整します。いつもは中央の位置に合わせておいてください。

画質つまみ

ソフト シャープ

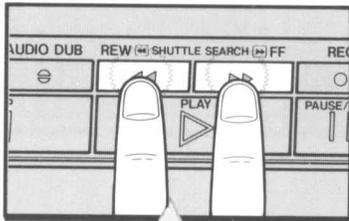
再生画の画質を調整するときは「画質つまみ」を左右にまわしてお好みの画質に合わせてください。

- 6 ノーマル音声かドルビーNRスイッチ「入」で録音されている場合はドルビーNRスイッチを「入」にする

入切

シャトルサーチ再生

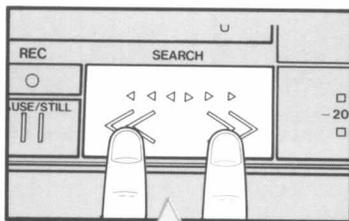
再生中に(REW)ボタンあるいは(FF)ボタンを押すと、押している間だけ約7倍のスピードで画面を見ながら、早送り、巻戻し再生ができます。



画面を見ながら巻戻し、早送りをする

サーチ再生

再生中に〔SEARCH〕ボタンを押すと再生スピードのコントロールが可能です



サーチ再生を解除するときは〔PLAY〕ボタンを押す

スローモーションから7倍速シャトルサーチまでコントロールできます

- 〔SEARCH〕ボタンの右側を押すと早送り方向の再生スピードを変えることができます。
 - 〔SEARCH〕ボタンの左側を押すと巻戻し方向の再生スピードを変えることができます。
- (くわしくは2ページの「各部の名称」をご覧ください。)

静止画/コマ送り再生

再生中に(PAUSE/STILL)ボタンを押すと静止画再生になります。さらに押すとコマ送りができます。



通常の再生に戻すときは〔PLAY〕ボタンを押す



●シャトルサーチ中は、画面に数本のノイズが出ますが、性能上の問題で故障ではありません。

- シャトルサーチのスピードは、標準モード、3倍モードとも約7倍です。
- 音声はできません。



●スローモーション再生中にノイズが出るときは「トラッキングスローつまみ」をまわして調整します。

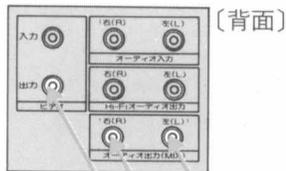
- 音声はできません。

- 静止画再生が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止状態になります。
- 画面にノイズが出たり、画面全体が上下にゆれたりしますが、性能上の問題で故障ではありません。
- 音声はできません。

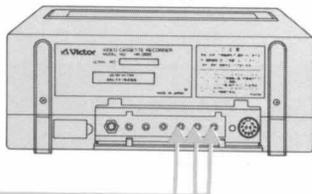
■テープのダビング(コピー)について

本機を再生側で使用するときには、ビデオ出力、オーディオ出力端子と録画側に使用するビデオの映像入力、音声入力端子をビデオケーブル(別売)で接続する。

再生 HR-D725



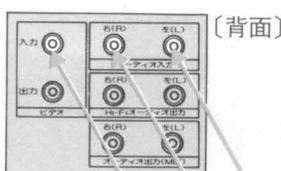
録画



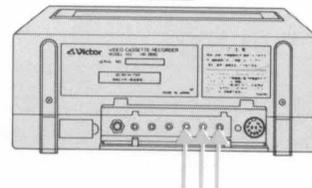
ステレオビデオと接続してダビングするときにはオーディオ端子の左(L)、右(R)をそれぞれ接続してください。モノラルビデオとの接続は、ダビングしたい音声を選んで接続してください。

本機を録画側で使用するときには、ビデオ入力、オーディオ入力端子と再生側に使用するビデオの映像出力、音声出力端子をビデオケーブル(別売)で接続する。

録画 HR-D725



再生



ステレオビデオと接続してダビングするときにはオーディオ端子の左(L)、右(R)をそれぞれ接続してください。モノラルビデオとの接続は、ダビングしたい音声を選んで接続してください。

■画質コントロールについて

本機を再生側で使用するときには、本機の画質つまみで画質調整をしながらダビングしてください。



本機を録画側に使う時は、本機の入力切替スイッチを「AUX」にして〔REC〕ボタンと〔PLAY〕ボタンを同時に押し、再生側のビデオを再生します。録画中に〔PAUSE/STILL〕ボタンを押せば、不要部分をカットして録画することができます。



- ダビングすると画質音質はもとのテープに比べ悪くなります。
- ダビング時はSP(標準)モードを利用することをおすすめします。

17 サイマルキャスト記録について

本機はテレビ番組(映像と音声)を記録しながら、同時に別の音声を同時に記録するサイマルキャスト記録ができます。

●操作時は[**TIMER**]スイッチを「**切**」にします。

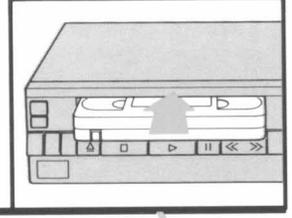
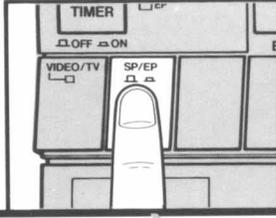
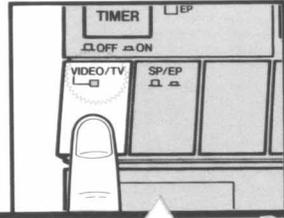
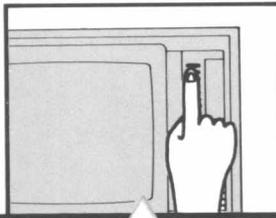
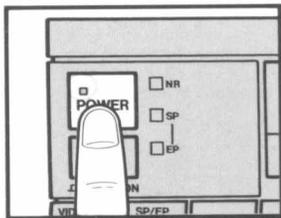
1 **電源**
(POWER)スイッチを押して電源を入れる

2 テレビのチャンネルを、ビデオ専用チャンネル(1)か(2)にする

3 **ビデオ テレビ**
(VIDEO/TV)ボタンを押してビデオランプを点灯させる

4 **標準 3倍**
(SP/EP) ボタンで録画時間を**選ぶ**

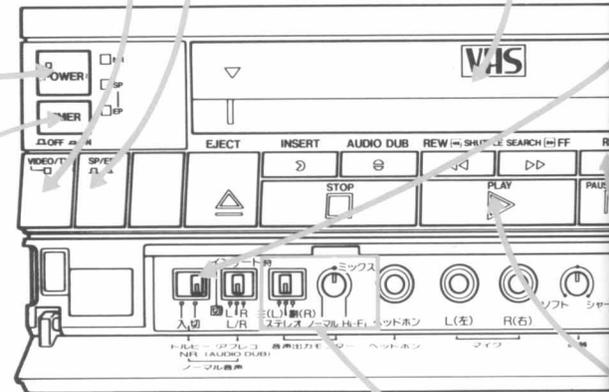
5 ツメのついたカセットを正しく**入れる**



A/V入力端子付テレビと接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをビデオにする。

A/V入力端子付テレビの場合は必要ありません。

[**切** OFF]にする



■サイマルキャスト記録をすると、テレビ番組と、もう一つ別の音声信号は次の様にテープ上に記録されます。

- ノーマル音声トラック(テレビ番組の音声)
- ビデオトラック(テレビ番組の映像)
- Hi-Fi音声トラック(別の音声)

■音声入力端子にFMチューナーや、テープデッキ等のオーディオ機器からの出力を接続します。(接続したオーディオ機器からの音声信号がHi-Fi音声トラックに記録されます。)この時、本機のマイク端子にマイクを接続するとHi-Fi音声トラックにマイクの音が混合されて記録されますのでご注意ください。

オーディオ入力端子

テレビ番組の音声が入力音声トラックに入る

音声入力端子に接続したオーディオ機器の音声が入力音声トラックに入る

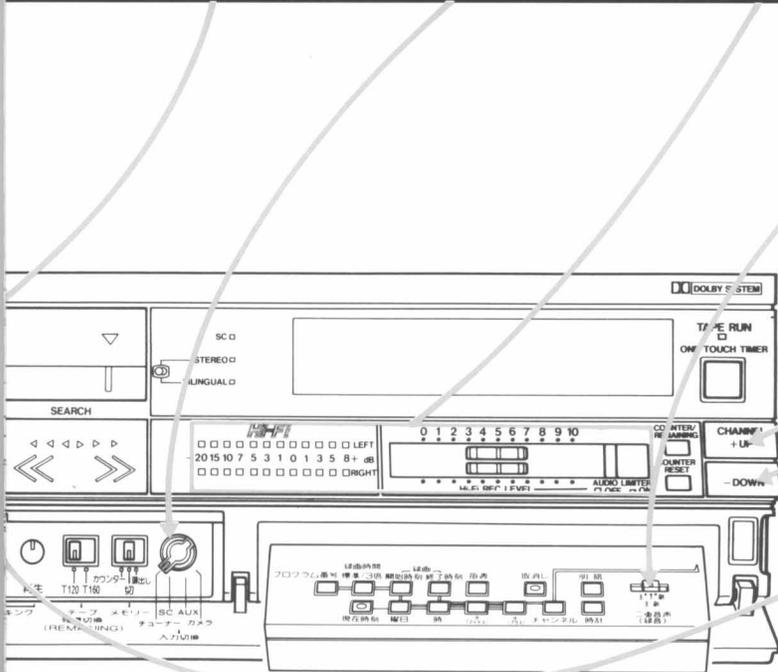
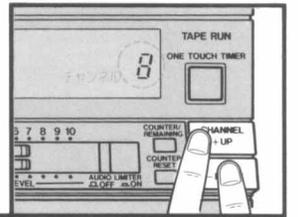
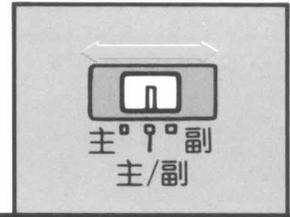
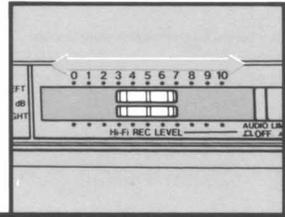
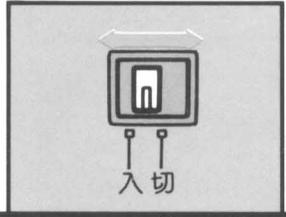
6 ドルビーNRスイッチを必要に応じて「入」または「切」にする

7 入力切換スイッチをサイマルキャスト「SC」にする

8 Hi-Fi音声の録音レベルを調整する
(くわしくは12ページをご覧ください)

9 テレビ番組が二重音声(2カ国語)放送の時は二重音声(録音)切換スイッチで記録する音声を選ぶ

10 録画したいチャンネルに合わせる

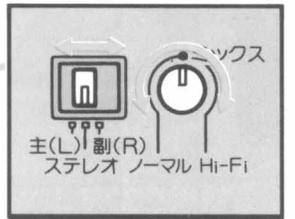


11 録画(REC)ボタンと再生(PLAY)ボタンを同時に押す



これでサイマル記録が始まります

12 音声出力モニタースイッチとミックスつまみで聞きたい音声を選ぶ



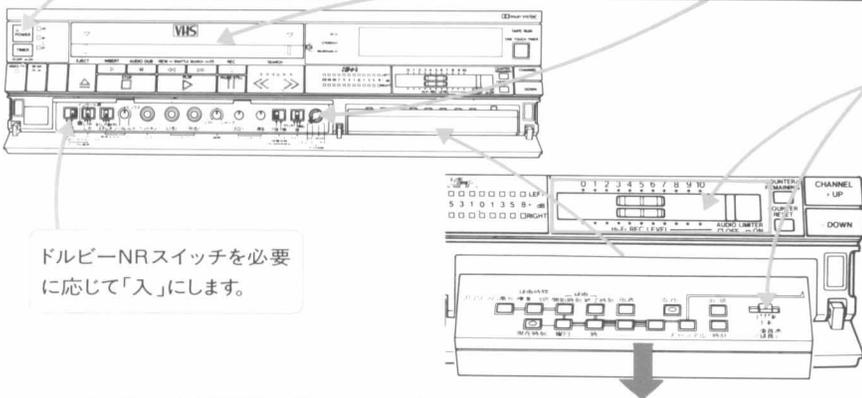
ご注意

- サイマルキャスト記録時に[PAUSE/STILL]ボタンで、コマースカットを行ないますと、外部からの音声(FMチューナーなど)もカットされますのでご注意ください。
- サイマルキャスト記録時にテレビ放送が終了した場合、記録されるHi-Fi音声が入る場合がありますので、記録の前にあらかじめ放送時間を確かめてください。
- サイマルキャスト記録時、番組のつなぎ目(コマースカットなどの切り目)で一瞬Hi-Fi音声が入る場合がありますが、性能上の問題で故障ではありません。

19 タイマー録画 (操作の前に22ページの「タイマー録画時のご注意」を必ずお読みください)

タイマー録画とは…録画する曜日・時間・チャンネルを前もって予約しておくことで、その予約した日、時間になると自動的に番組を録画する便利な機能です。なお、本機は2週間以内の8番組が予約できます。また、毎週決まった時間に放送されるテレビ番組の連続予約をすることもできます。予約する前に本機・現在時刻(時計表示)があっていることを確かめてください。くわしくは7ページをご覧ください。

- 1 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
[POWER]ランプが点灯
- 2 ツメのついたカセットを正しく入れる
- 3 入力切換スイッチを「チューナー」にする
- 4 二重音声(2ヶ国語)放送を録画するときは、あらかじめ二重音声(録音)スイッチで録音する音声を選んでください
- 5 Hi-Fi 音声の録音レベル調整をする
[AUDIO LIMITER]スイッチが「ON」の時は自動的にレベル調整されます。



ドルビーNRスイッチを必要に応じて「入」にします。

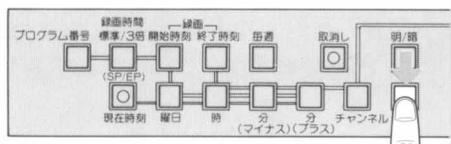
★初めてタイマー予約をするときは、タイマー表示部は下のようになっていますが、予約内容が残っているときは、タイマー表示部には前の予約が表示されます。
★予約中、1分間プログラム合わせをしないと、表示は時計表示に変わりますのでご注意ください。

プログラムの番号1に土曜日の午後10時30分から11時45分の間に放送される12チャンネルの番組を標準モードで録画予約する例です。

録画開始時刻を合わせる

<h2>6</h2> <p>プログラム番号ボタンを押して、予約したいプログラム番号(1~8)をきめる</p>	<p>1 回押すごとにプログラム番号が変わる</p>	<p>プログラム 1</p>
<h2>7</h2> <p>録画時間(標準/SP/EP/3倍)ボタンで録画時間を選ぶ</p>	<p>1 回押すごとに標準、3倍の交互に点灯</p>	<p>録画 標準 3倍</p>
<h2>8</h2> <p>録画開始時刻ボタンを押す</p>	<p>表示部の「開始」が点滅</p>	<p>開始</p>
<h2>9</h2> <p>曜日ボタンで録画する「曜日」を合わせる</p>	<p>曜日ボタンを押すと、表示は次のように変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1週目: 日・月・火・水・木・金・土 2週目: 日・月・火・水・木・金・土 毎日表示: 日・月・火・水・木・金・土 	<ul style="list-style-type: none"> ●たとえば、土曜日に合わせるときは ●2週目の土曜日に合わせるときは ●毎日連続で録画したいときは、日曜日~土曜日まで全部を点灯させる
<h2>10</h2> <p>時ボタンで「時」を合わせる</p>	<p>午後10時は 22 にする</p>	<p>22</p>
<h2>11</h2> <p>分(マイナス)、分(プラス)ボタンで「分」を合わせる</p>	<p>午後10時30分なら 30 にする</p>	<p>22 30</p>

■タイマー予約中に、時計表示ボタンを押すと、表示部に現在時刻が表示されます。再び、タイマー合わせをするときは、プログラム番号ボタンを押してください。



〈本機のタイマーは24時間デジタル表示式です〉

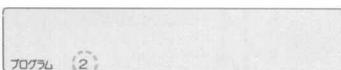
録画終了時刻を合わせる

<p>12 録画終了時刻ボタンを押す</p>	<p>表示部の終了表示が点滅</p>	
<p>13 時ボタンで“時”を合わせる</p>	<p>午後11時なら23にする</p>	
<p>14 分(マイナス)、分(プラス)ボタンで“分”を合わせる</p>	<p>午後11時45分なら23:45にする</p>	
<p>15 チャンネル予約ボタンを押す</p>	<p>表示部の“予約”が点滅します</p>	
<p>16 チャンネル(CHANNEL)選局ボタンで録画するチャンネルを予約する</p>		
<p>17 同じプログラムを毎週予約録画する場合は“毎週ボタン”を押す</p>	<p>毎週表示が点灯します 毎週ボタンを1回押すことにより消えたりします</p>	

これで1つの番組のタイマー合わせは完了です

さらにいくつかの番組を予約するときは

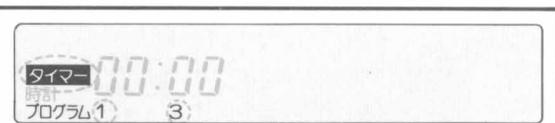
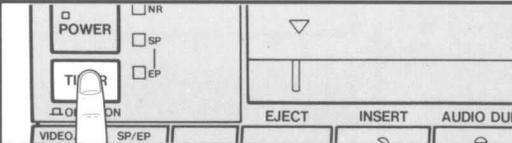
●プログラム番号ボタンを押して他のプログラム番号を選び7~11の操作をします。



- 他のプログラム番号も同じように合わせるができます。
- タイマー予約したテレビ番組の放送時間(録画時間)の合計がビデオカセットの録画時間を超えないように注意してください。

予約完了

18 タイマー合わせが終わったら(TIMER)スイッチを「ON」にする



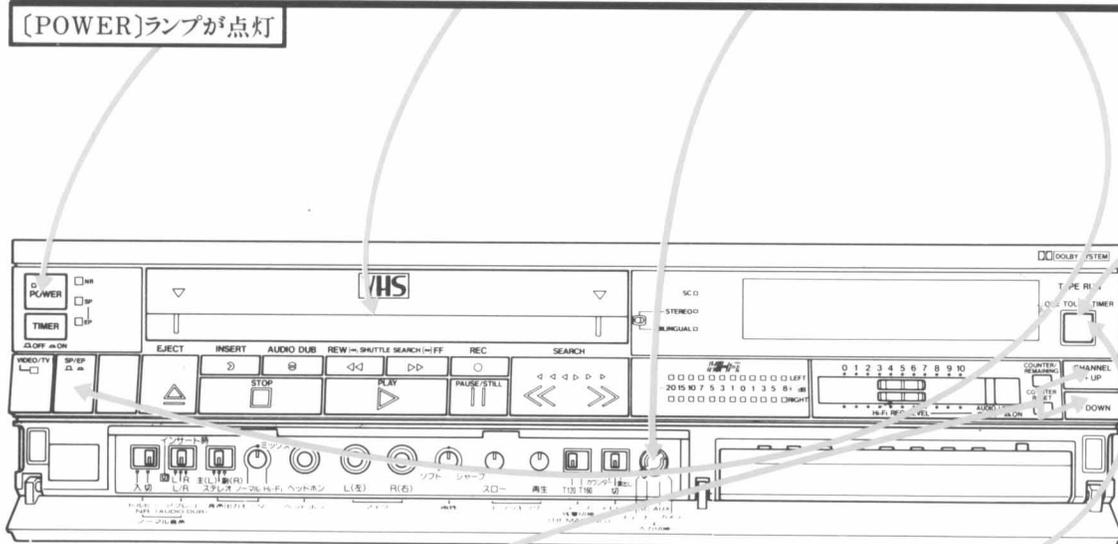
- このとき表示部は時計表示になり、**タイマー** が点灯し予約されたプログラム番号が点灯する。
- 合わせたはずのプログラム番号が点灯しない場合は、予約にミスがありますのでプログラム番号ボタンを押して確認してください。
- タイマー予約にミスがあると**タイマー** が点滅します。このときは再度予約内容と、[POWER]スイッチが押されているかを確認してください。

- もし、ツメのついていないカセットが入っている場合は自動的に戻されてきます。
- 時間になると、自動的に録画が開始されます。
- ※タイマー録画が終わったら[POWER]スイッチと[TIMER]スイッチを「OFF」にしてください。

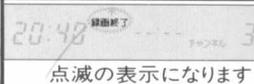
21 ワンタッチタイマー録画

おやすみ前や急の外出などに録画したい番組を録画するときにはたいへん便利です。

- 1 電源 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
- 2 ツメのついたカセットを正しく入れる
- 3 入力切換スイッチを「チューナー」にする
- 4 標準 3倍 (SP/EP) ボタンで録画時間を選ぶ
- 5 ワンタッチ (ONE TOUCH タイマー) ボタンを1回 押す



表示部の録画終了表示が10秒間点滅します。10秒間以内に、つぎの操作にうつってください。



- 必要に応じてドルビーNRスイッチを「入」にする
- [TIMER]スイッチは、「ON」でも「OFF」でもワンタッチタイマー録画ができます。
- 二重音声(2ヶ国語)放送を録画するときは二重音声(録画)切換スイッチで録音する音声を選んでください。

- 6 チャンネル (CHANNEL)選局ボタンで録画したいチャンネルに合わせる
- 7 再び (ワンタッチ) (ONE TOUCH タイマー) ボタンを押す (1回押すごとに30分ずつ加算) されて表示します。
- 8 30分以上設定されると 録画を 開始する
- 9 残り時間がなくなると自動的に電源が 切れる

▼10チャンネルなら10にする
10秒以内に つぎの操作にうつってください。

▼30分表示に切り替ります
▼1回押すごとに30分ずつ加算されます

▼最大4時間まで表示できます

●このとき、分(マイナス)または分(プラス)ボタンを押せば4:59まで合わせることができます。※1分単位の調整もできます。

▼表示後、さらに[ONE TOUCH TIMER]ボタンを押すと0:00になります。

チャンネルロック機構が働き、チャンネルの選局はできなくなります。

●録画が始まると、時間が1分ごとに減算し残り時間を表示します。

[POWER]ランプが消える

ご注意

- 通常のタイマー録画予約中や、実行中にワンタッチタイマー録画をする、ワンタッチタイマー録画が優先しますので、ご注意ください。
- ワンタッチタイマー録画中は、一時停止やチャンネルは変えられませんのでご注意ください。チャンネルを変える時は[STOP]ボタンを押して、一度ワンタッチ録画を中断して、からの操作をしてください。

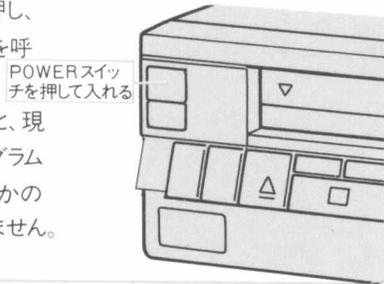
●プログラムの取消しかた

■プログラムを取消したい時は、^{電源}〔POWER〕スイッチを押して入れます。

1 プログラム番号ボタンを押し、

取り消したいプログラムを呼びだす。

2 **取消し** ボタンを押すと、現在表示されているプログラムが取り消されます。●ほかのプログラムは取り消されません。



●タイマー合わせ時のご注意

■プログラム番号ボタンを押した後……曜日や時、分を合わせないで放置しておく、約1分後に時計表示に切り替わりますので切り替わったらもう一度プログラム番号ボタンを押してください。

■分ボタンで“分”を合わせるときは

- ・分(プラス)ボタンは数字をひとつずつ加算します。
- ・分(マイナス)ボタンは数字をひとつずつ減算します。

■終了時刻が翌日になる場合……終了時刻が翌日になる場合は曜日が自動的に変わります。

■連続予約をするときは……帯番組(毎日同じ時刻に放送される連続ドラマ)など連続予約したとき、他のプログラムが予約されていると、他のプログラムも動作して録画してしまいます。帯番組だけ録画するとき、他のプログラムは取消してください。^{タイマー}〔TIMER〕スイッチが「**ON**」になっていると取消できません。「**OFF**」にして取消してください。

■毎週ボタンを再度押すと**毎週**表示は取消されます。“毎週”予約をしていないときは、一度タイマー録画が終了すると、自動的に予約内容は取消されます。

■タイマー予約をして、^{電源}タイマー表示部が点滅しているときは、〔POWER〕スイッチが切つてあるときか、録画開始時刻と録画終了時刻が同じか、チャンネルを予約していないか、カセットが入っていないときです。タイマー表示が点滅しているときは、必ず確認してください。

●タイマー録画時のご注意

■タイマー録画中は……^{停止}〔STOP〕/^{一時停止}〔PAUSE/STILL〕/^{静止}〔CHANNEL〕選局の操作はできませんのでご注意ください。

■タイマー録画実行中は、終了時刻のみ修正することができます。

■タイマー録画が終わったら、^{電源}〔POWER〕スイッチおよび^{タイマー}〔TIMER〕スイッチを「**OFF**」にしてください。

■タイマー録画では……録画開始の約10秒前に電源が入り、一時停止状態を数秒したのち、録画が始まります。オートリwind機構は動作しません。テープの最後まで録画をすると、カセットは自動的に出され、電源が切れます。

●予約中に停電があったとき

■停電があったときは……タイマー録画前や録画中に停電すると、その後通電されても録画はされません。タイマー表示部が点滅しているときは、停電のあったことを示します。10分以内の停電は予約内容を記憶しています。

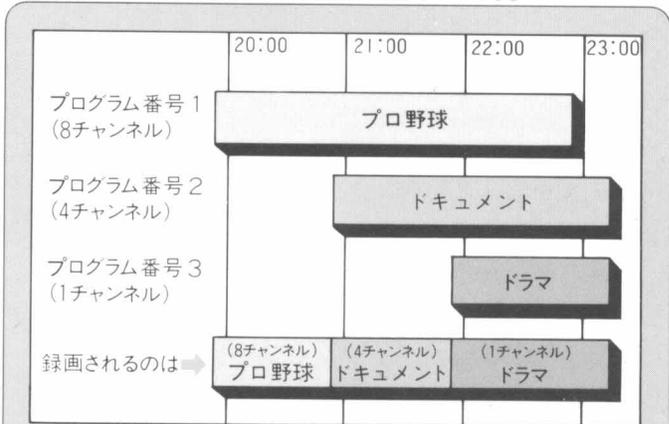


●停電の後テレビ放送が受信できない時やチャンネル表示が異常な時は、本機チャンネルプリセット部のチャンネルプリセットボタンを2度押してください。

■タイマー録画予約は^{タイマー}〔TIMER〕スイッチが「**ON**」でないと動作しません。タイマー合わせが終わったら必ず「**ON**」にしてください。

■録画時間(標準/3倍)^{SP}ボタンで録画時間を予約(19ページの1)の操作)しないときは本機のタイマーは自動的に標準モードで録画をしますのでご注意ください。

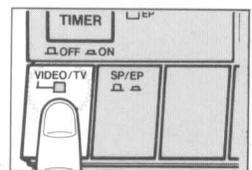
■もし、予約した番組の時刻が重なったら。



●このように録画されますから、予約した時間が重なったときは注意してください。ただし、予約した曜日が異なっている場合は、だいじょうぶです。

■タイマー録画中に録画中の画や音をチェックするときは^{ビデオ}〔VIDEO/TV〕ボタンを押してビデオランプを点灯させて、テレビのチャンネルを(1)か(2)にしてください。

■タイマー録画中にテレビで他のチャンネルを^{ビデオ}ごらんになるときは〔VIDEO/TV〕ボタンを押してビデオランプを消して、テレビのチャンネルを見たいチャンネルに合わせてください。

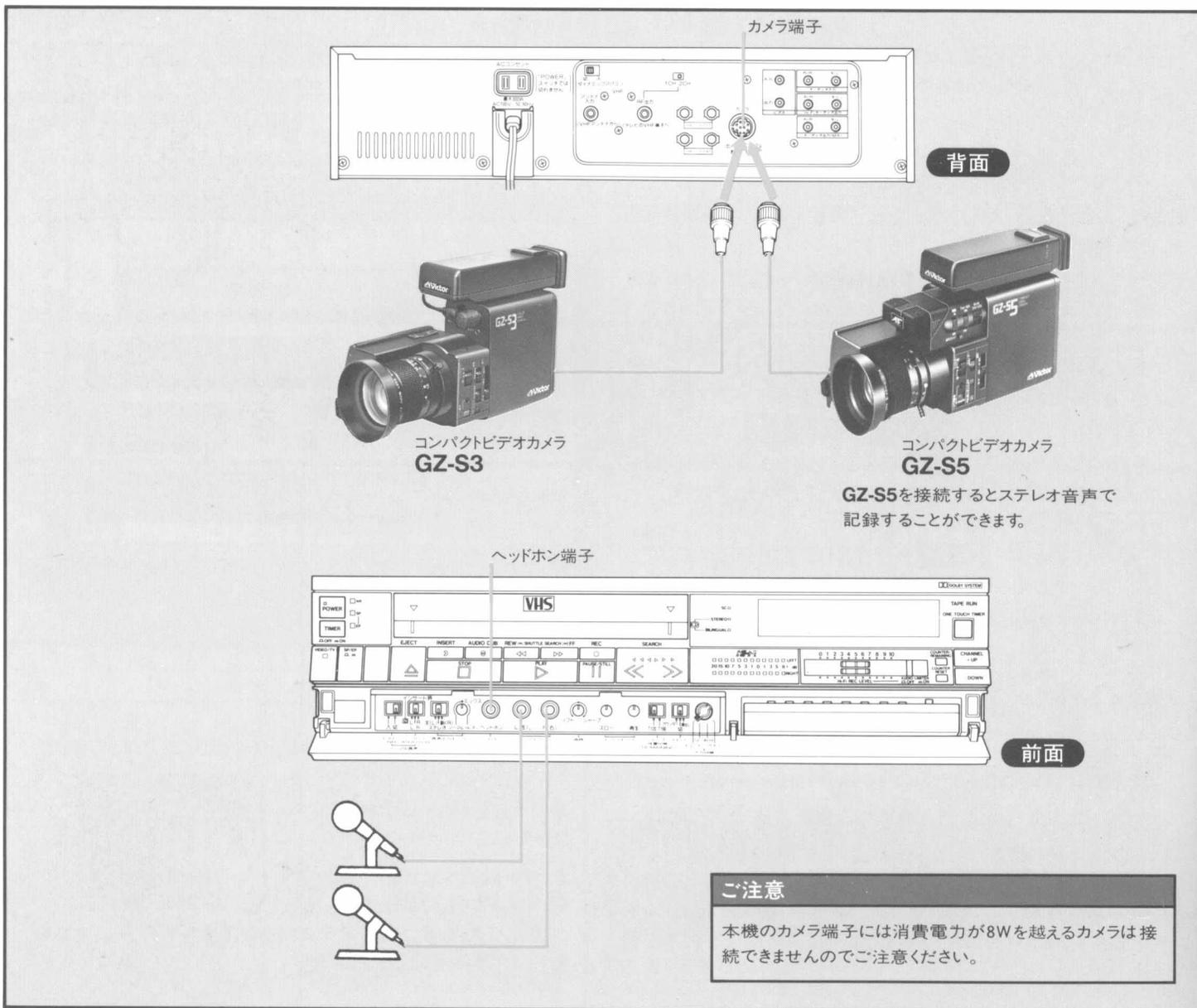


23 カメラ録画

庭先でのゴルフレッスンやホームパーティ、お子さまの成長記録など、ビデオにしておけば、思い出がいつでも再生でき、くらしの楽しさが広がります。

接 続

カメラ端子にビデオカメラを接続します。
マイク端子にマイクを接続するとカメラ内蔵のマイクと混合(ミックス)されて記録されます。
接続の際は、ビデオカメラの「ご愛用のしおり」もあわせてお読みください。

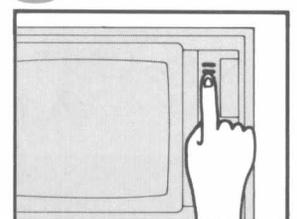
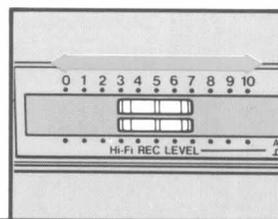
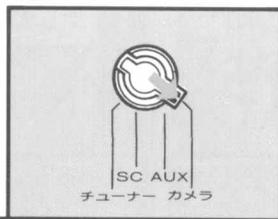
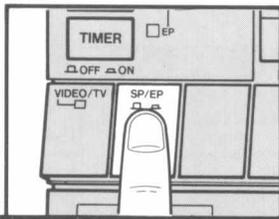
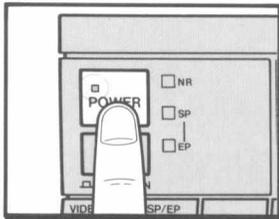


こんなときは

- カメラの画がテレビにうつらない
 - テレビのチャンネルは、(1)か(2)になっていますか。
 - 入力切換スイッチは「カメラ」になっていますか。
- テレビから「ピーツ」「ウーン」という音がする
 - テレビのボリュームをしぼってください。
 - カメラやマイクをテレビから離してください。

●操作時は[TIMER]スイッチを「**OFF**」にしてください。

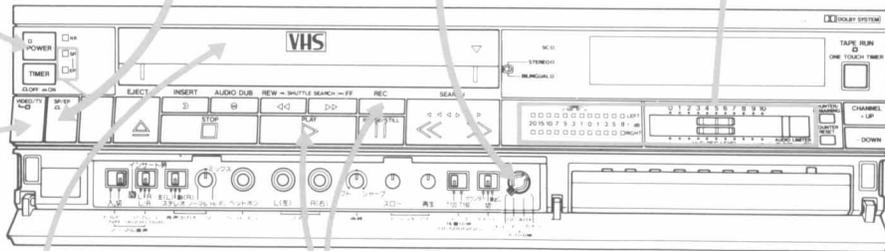
- 1 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
- 2 (SP/EP)ボタンで録画時間を選ぶ
- 3 入力切換スイッチを「カメラ」にする
- 4 Hi-Fi音声の録音レベル調整をする
- 5 テレビのチャンネルを(1)か(2)にする



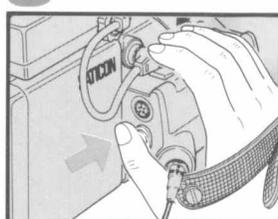
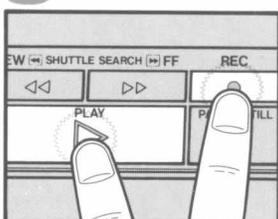
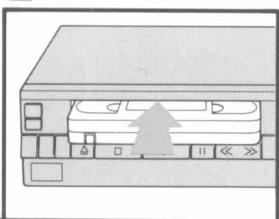
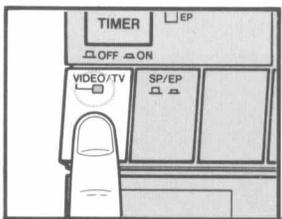
[SP/EP]ボタンを押すこと
に上のSPランプとEPランプが
交互に点灯します。

[AUDIO LIMITER]スイッチが「**ON**」の時は自動的
にレベル調整されます。

A/V入力端子付テレビと接続
のときは、テレビのビデオ/
テレビボタンをビデオにする。



- 6 (VIDEO/TV)ボタンを押してビデオランプを点灯させる
- 7 ツメのついたカセットを正しく入れる
- 8 (REC)ボタンと(PLAY)ボタンを同時に押す
- 9 カメラのスタート/ストップスイッチを押す



A/V入力端子付テレビの場合は
ありません。

これで録画が始まります。
スタート/ストップスイッチが
ストップ状態では録画され
ません。

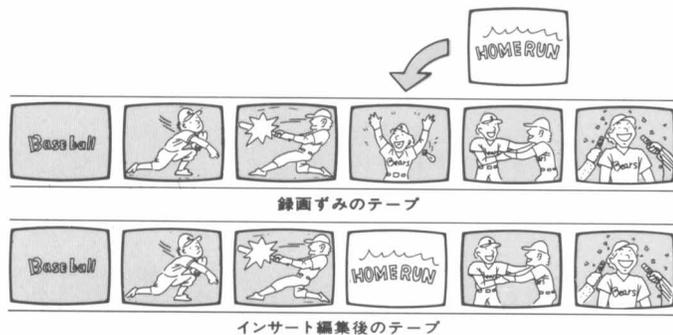
●電子ビューファインダー
付のカメラを接続した場
合再生時はカメラの電
子ビューファインダーで
再生画像を見ることが
できます。

●ビデオカメラの操作は、
カメラの「ご愛用のしお
り」をご覧ください。

25 簡易インサート編集のしかた

『簡易インサート編集』とは、録画済みのビデオカセットにあとから映像と音声を入し、テープ編集をすることです。本機には手軽にこのインサート編集ができる「簡易インサート機構」が内蔵されています。

カメラの画やほかのビデオからの映像と音声を入し、あなただけのオリジナルビデオを創ってみてはいかがでしょうか。

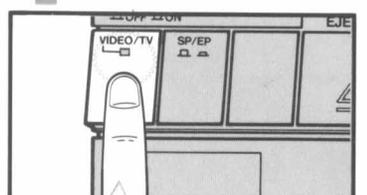
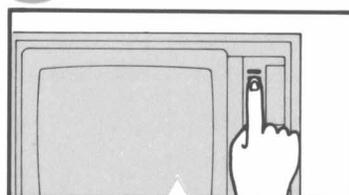
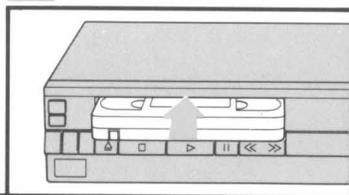
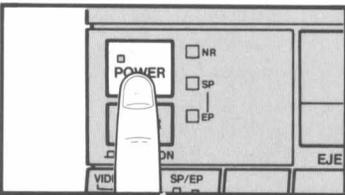


ご注意

- 背面のビデオ、オーディオ入力端子に接続した他のビデオの映像をインサート編集する場合は、接続したビデオの再生画像がきれいになってから、インサート編集をしてください。
- Hi-Fi音声トラックに音声記録されている場合は簡易インサート編集をすると前のHi-Fi音声が消えて新しい音声記録されますのでご注意ください。
- インサート編集中はノーマル音声トラックの音声は、アフレコスイッチで「L/R」または「R」側のみに切換えて記録できます。アフレコスイッチを、「L」にするとノーマル音声トラックには音声は記録されません。
- インサートする部分の途中で録画時間（標準、3倍）が変わっている場合は、インサートする画像が乱れますのでご注意ください。
- インサートされた画面に多少の乱れや色ムラが現われることがありますが性能上の問題で故障ではありません。

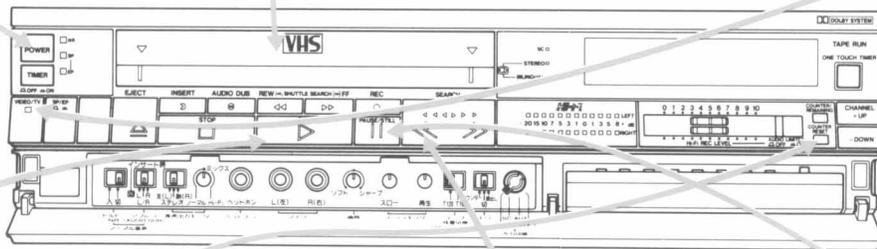
● 操作時は「TIMER」スイッチを「OFF」にする。

- 1 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
- 2 ツメのついたインサート編集したいカセットを入れる
- 3 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)か(2)にする
- 4 (VIDEO/TV)ボタンを押してビデオランプを点灯させる

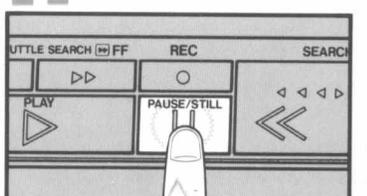
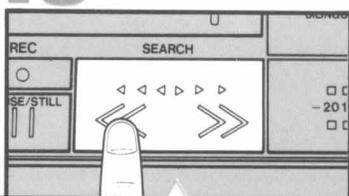
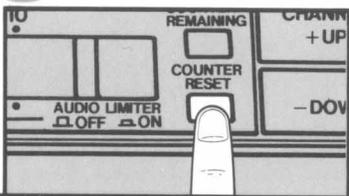


A/V入力端子付テレビと接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをビデオにする。

A/V入力端子付テレビの場合は必要ありません。



- 8 (PLAY)ボタンを押す
- 9 インサートしたい部分のかわりをさがして(COUNTER RESET)ボタンを押しカウンターを0000にする
- 10 インサートする部分のはじめまでカセットを戻す
- 11 はじめの部分まできたら、(PAUSE/STILL)ボタンを押す



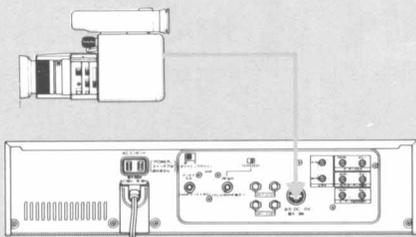
■このとき、再生画像がきれいに写っていることを確かめてください。画面にノイズが出る場合は、トラッキング再生つまみを左右にゆっくりまわし、ノイズがなくなるよう調整します。

〔SEARCH〕を使うと便利です。

テレビの画面は静止画になります。

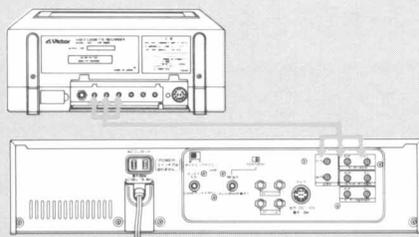
接 続

■ビデオカメラの映像と音声をインサート編集するとき



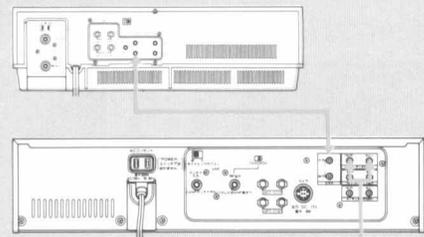
本機

■他のビデオからの映像と音声をインサート編集するとき



本機

■他のビデオから映像を、オーディオ機器から音声をインサート編集するとき



本機



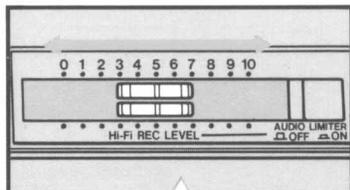
(テープレコーダーやFMチューナーなど)

5 入力切換スイッチをインサート編集する入力によって 切替える

- カメラの映像をインサートするときには「カメラ」にする。
- テレビ番組をインサートするときには「チューナー」にし、インサートするテレビ番組にチャンネルをあわせる。
- FMチューナーや他のビデオ機器から音声をインサートするときには、「AUX」にする。

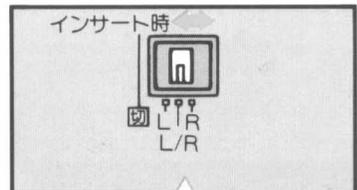


6 Hi-Fi音声の録音レベルを調整する

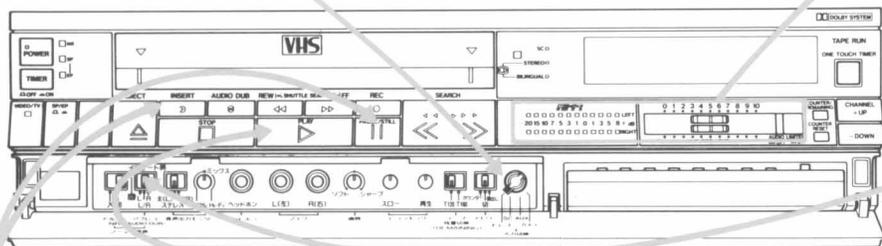


[AUDIO LIMITER]スイッチが「ON」の時は自動的にレベル調整されます。

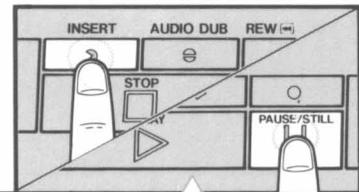
7 アフレコスイッチで、インサートするノーマル音声トラックを 選ぶ



L/R…両方の音にアフレコ
R…R側(右)の音にアフレコ
■インサート編集時に「L」にするとノーマル音声トラックにはインサートができません。前の音がそのまま残ります。

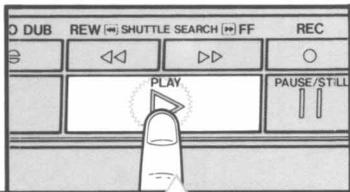


12 一時停止(PAUSE/STILL)ボタンと挿入(ININSERT)ボタンを同時に押す



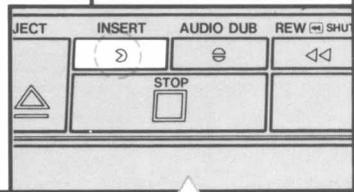
テレビの画面は入力されている映像の画面になり、この画面がそのままインサートされます。

13 再生(PLAY)ボタンを押すと挿入編集が始まる
他のビデオの映像をインサートするときは、再生画像がきれいになってから(PLAY)ボタンを押す。



インサート編集中に[PAUSE/STILL]ボタンを押すと、つなぎ録画ができます。

14 カウンターが 0000 になると自動的に挿入編集がおわって再生状態になる
挿入ランプが消える



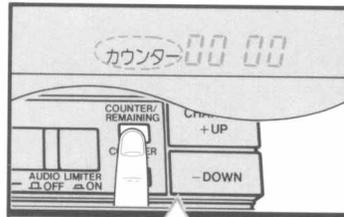
インサート編集中に[COUNTER RESET]ボタンを押すと、その場でインサート編集をおわらせることができます。

27 便利な機構について

カウンター表示

テープカウンターとして表示部
をご使用になるときは

1 ^{カウンター} (COUNTER/REMAINING)
切換ボタンを押して表示部に
カウンター表示を出す

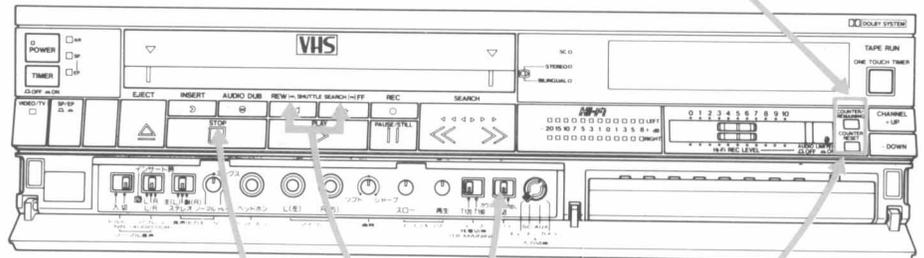
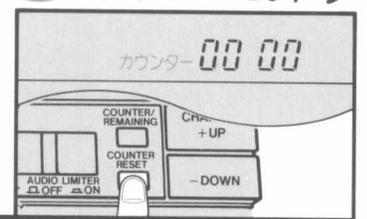


[COUNTER/REMAINING] 切換ボタンは1回押すごとに「カウンター表示」と「テープ残量表示」を切換えることができます。

2 テープ走行により
テープカウンターが
動く



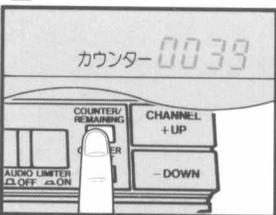
3 テープカウンターをリセット
00 00 にするときは
^{カウンターリセット} (COUNTER RESET)
ボタンを押す



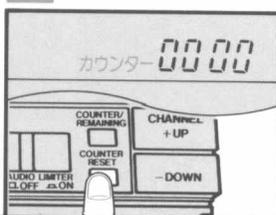
カウンターメモリー

カセットを巻戻し、あるいは早送りしたいときカウンターが 00 00 付近になると、その位置で自動的に停止する便利な機構です。テープをくり返し見たいときや、テープの途中で録画された場面を探すときに使います。

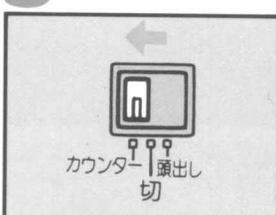
1 ^{カウンター} (COUNTER/REMAINING)
切換ボタンを押して
「カウンター表示」を
出す



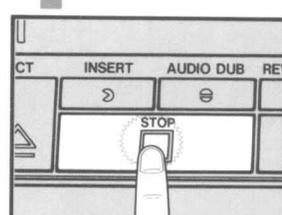
2 録画や再生中に見たいところ
^{カウンターリセット} (COUNTER RESET)
ボタンを押して
00 00 にする



3 メモリースイッチ
を「カウンター」に
する



4 録画や再生が終わ
ったら(STOP)
ボタンを押す



5 ^{巻戻し} (REW) ボタン
あるいは ^{早送り} (FF)
ボタンを押す



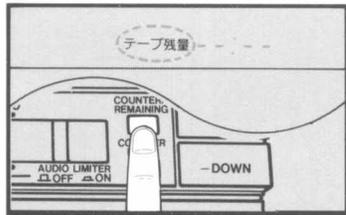
テープ残量表示

途中まで録画したカセットなどを使って、残りの部分に新しく録画したいとき、あと約何分録画できるかを調べるとき便利です。

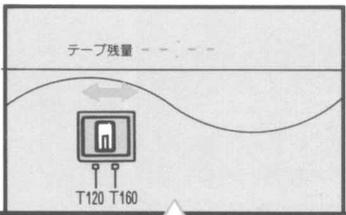
(テープが正しく走行されるまで誤った表示をすることがあります)

- 録画時のテープ残量は〔SP/EP〕ボタンによって選んだモードにより計算します。
- 再生時のテープ残量は再生しているカセットのモード〔SP/EP〕によって計算します。

1 カウンター/テープ残量
(COUNTER/REMAINING)
切換ボタンを押して「テープ残量表示」を出す



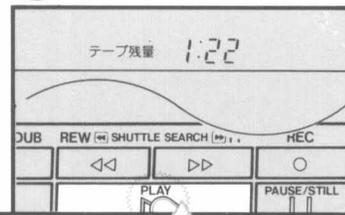
2 テープ残量切換スイッチでテープの種類によって切替える



T-120...T-120より短いテープのとき

T-160...T-160を使うとき

3 録画あるいは再生をする

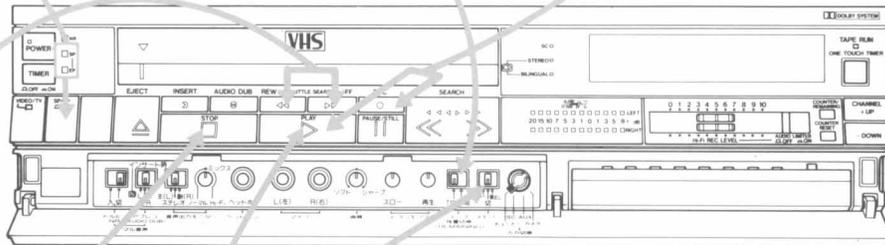


テープ走行中により、テープの残量を表示します。(表示されるまで若干時間がかかります)

頭出し機構

いくつかの番組が1本のカセットに録画されてあるときの各番組の録画開始点を、巻戻し、あるいは早送りして自動的に探します。

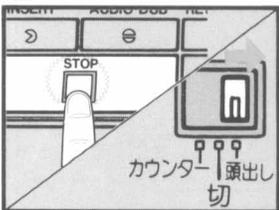
録画 [REC] ボタンと再生 [PLAY] ボタンを押して録画するときやタイマー録画のとき、自動頭出し信号は自動的に記録されます。



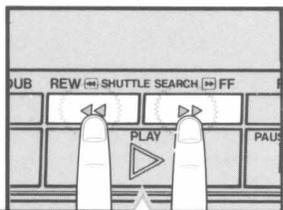
オートリwind機構

録画や再生/早送り中にテープが最後まで走行したとき、自動的に停止状態になり、オートリwind機構によりテープを自動的に巻戻します。

1 (STOP) ボタンを押してから、メモリースイッチを「頭出し」にする



2 (FF) (REW) ボタンを押すと、テープの途中の録画開始点で、自動的にテープが停止する



3 希望する番組の頭出しができれば (再生) (PLAY) ボタンを押して再生する



希望しない番組のときは、もう一度〔FF〕または〔REW〕ボタンを押します。

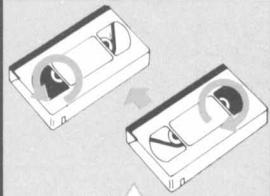
メモリースイッチが「カウンター」になっていると

- カウンターが「9999」付近になると自動的に停止します。

カウンター 0000

メモリースイッチが「頭出し」になっていると

- 自動頭出し信号が記録されているところで停止します。



最初まで巻戻しをしたいときは、メモリースイッチを「切」にして〔REW〕ボタンを押してください。

タイマー録画するとき、予約したプログラムが連続して動作する場合は記録されません。1つのプログラムが済んで次のプログラムが動作するまで時間がある場合は記録されます。

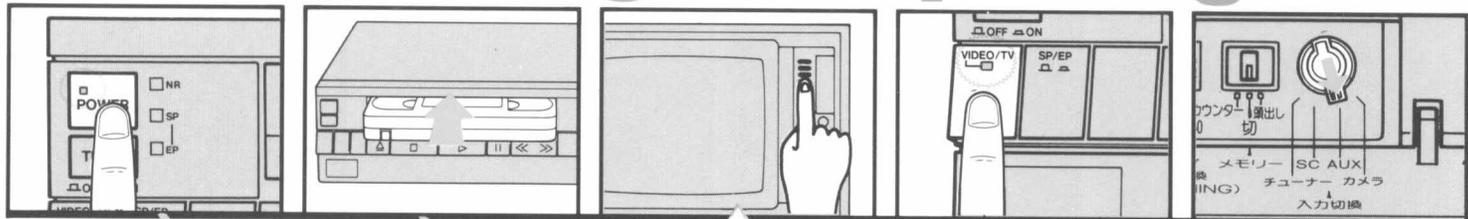
- オートリwind中に〔STOP〕ボタンを押すと、テープは停止します。
- タイマー録画中はオートリwind機構は働きませんのでご注意ください。

29 アフレコのしかた

本機は録画ずみテープのノーマル音声トラック(L・L/R・Rチャンネル)の音声を入れ替えることができます。Hi-Fiトラックの音声は入れ替えることができません。

●操作時は[^{電源}TIMER]スイッチを「^切OFF」にする。

- 1 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
- 2 ツメのついたカセットを正しく入れる
- 3 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)か(2)にする
- 4 (VIDEO/TV)ボタンを押してビデオランプを点灯させる
- 5 入力切換スイッチを“AUX”にする



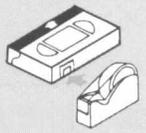
A/V入力端子付テレビとの接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをビデオにする。

A/V入力端子付テレビの場合には必要ありません。

「切 OFF」にする

■テレビが「ピーッ」「ウーン」というノイズを出すときはマイクの位置がテレビに近づきすぎているか、テレビのボリュームが大ききときにおこります。マイクをテレビから離すか、テレビの音量をさげてください。

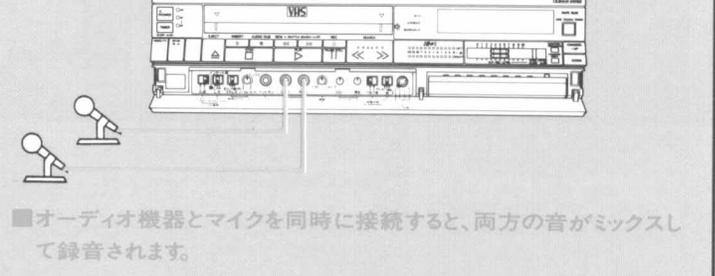
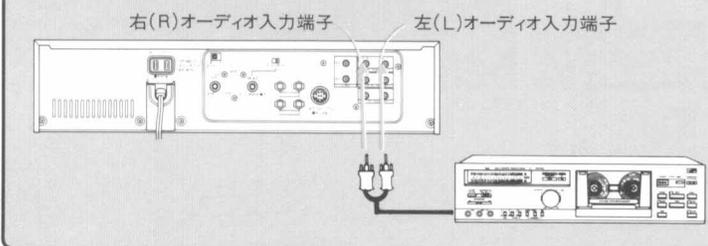
■ツメのついていないビデオカセットでは、アフレコはできません。ツメの部分にセロハンテープを貼ると、アフレコができます。



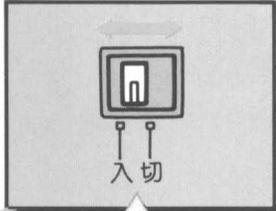
■本機のアフレコ機構はノーマル音声トラックのみにはたります。Hi-Fi音声トラックにはアフレコはできません。

■オーディオ機器からの音声をアフレコするときは…オーディオ機器の音声出力(オーディオアウト)端子と本機のオーディオ入力端子を接続します。

■マイクからの音声をアフレコするときは…ステレオマイクまたはマイク2本を本機のマイク端子に接続します。L(左)だけにマイクを接続すると自動的にL(左)とR(右)に同じマイクの音が入ります。R(右)だけにマイクを接続したときはR(右)だけにマイクの音が入ります。



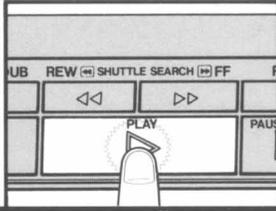
6 ドルビーNRスイッチを必要により「入」または「切」にする



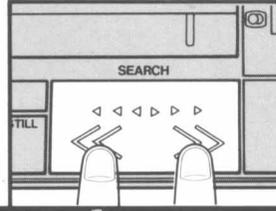
7 アフレコスイッチで、アフレコするトラック(L・L/R・R)を選ぶ



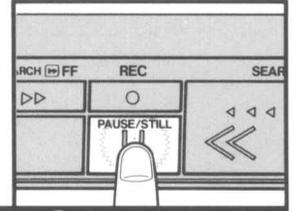
8 (再生) (PLAY) ボタンを押す



9 (サーチ) (SEARCH) ボタンで録音したいところの頭出しをする



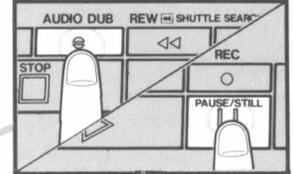
10 アフレコしたいところで一時停止 (PAUSE/STILL) ボタンを押す



- 「入」で録音すると、ノーマル音声のテープノイズを減少させます。
- 「入」で録音したノーマル音声の音を再生する場合は、再生時も「入」にします。

L...L側(左)の音にアフレコ
L/R...両方の音にアフレコ
R...R側(右)の音にアフレコ

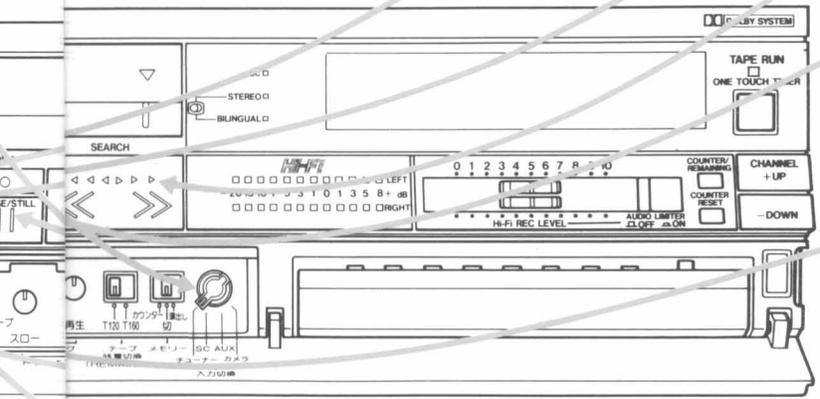
11 アフレコ (AUDIO DUB) ボタンと (PAUSE/STILL) ボタンを同時に押す



12 (再生) (PLAY) ボタンを押す



- アフレコが始まります
- アフレコを一時的に停止するときは[PAUSE/STILL]ボタンを押します。
 - アフレコをやめるときは、[STOP]ボタンを押します。



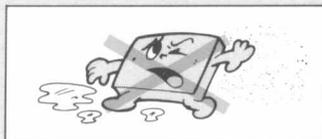
31 使用上のご注意

このステレオハイファイビデオカセット—HR-D725は、機械のすみずみまで精巧な技術が駆使されています。正しくお使いいただくために、つぎのことにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。

このビデオカセットは、日本国内用につくられたものです。電源電圧、および放送規格の異なる外国では使用できません。また、このビデオカセットは家庭用100V電源でお使いください。

■設置場所についてのご注意

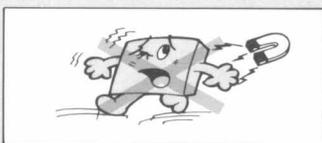
- 湿気やほこりの多いところに置かないでください。



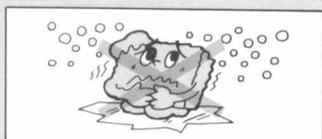
- 直射日光が当たる場所やストーブの近くなど暑いところに置かないでください。



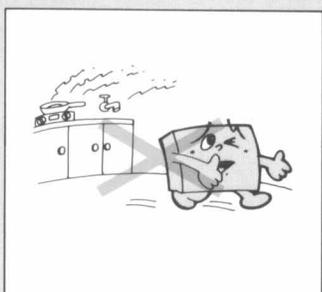
- 磁気の発生する場所、振動の激しいところに置かないでください。



- 極端に寒いところに置かないでください。



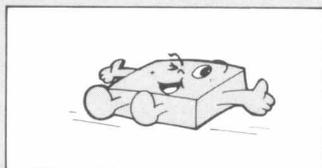
- 調理台の近くなど油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。



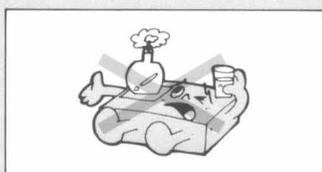
- じゅうたんやふとんなど、やわらかいものや、デコボコしたところの上に直接置いてご使用にならないでください。

■ご使用上のご注意

- ビデオは必ず水平にしてお使いください。不安定な場所に置かないでください。



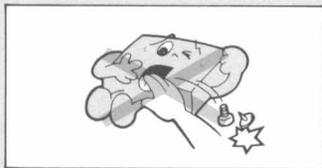
- ビデオの上にもものをのせないでください。とくに花瓶、コップなどの容器を置かないでください。



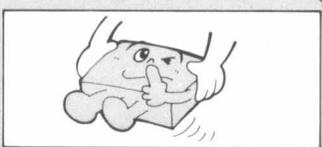
- キャビネットの通風孔をテープクロスなどでふさいだり、かぶせたままでお使いにならないでください。



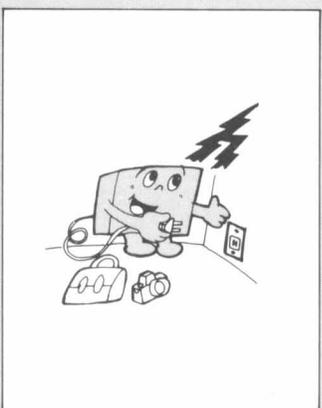
- ビデオの通風孔、カセット挿入口などから内部に金属や燃えやすいもの、手などを入れないようご注意ください。特にお子様にはご注意ください。



- ビデオを持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。また輸送のときはカセットをはずし、正しく梱包してください。



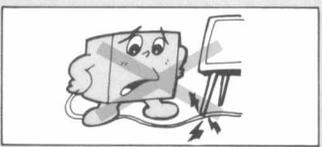
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源コードをコンセントから抜いてください。このときコードを引っばらずプラグを持って抜いてください。



- また、本機の動作中(再生中・記録中など)に電源コードを抜きますと、トラブルの原因となりますので電源コードを抜くときは、必ず停止状態にしてから抜いてください。

- 雷が近いときは、早めにビデオの電源コードをコンセントから抜いてください。

- 電源コードに傷をつけないでください。火災、ろう電、感電の原因となります。電源コードが傷んだら、交換をご依頼ください。



■キャビネットについてのご注意

- キャビネットはやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。シンナーやベンジンでふくと変質したり、時計表示部がもつたりします。汚れがひどいときは、家具住宅用洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきしてください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- キャビネットに殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ビデオが異常のときは

- ビデオから異常な音がするとき、煙がでるとき、画がでなくなったときなど、異常があるときは、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

■美しい画面をご覧いただくための点検のおすすめ

ビデオテープレコーダーは、カラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特にビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも

美しい画面をご覧いただくためには使用環境(温度、湿度、ホコリ)等に左右されますが、およそ1,000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめいたします。

くわしくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

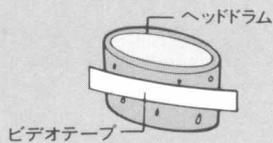
■つゆつきについて

■“つゆつき”とは

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつかます。この状態を“つゆつき”(露結または結露)といいます。

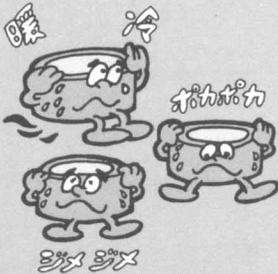
■“つゆつき”状態になると

- ビデオの心臓部であるヘッドドラムのまわりに水滴がつくと、テープが貼りついて、せつかくのテープを傷めてしまいます。



■“つゆつき”はこんなときおきます

- ビデオを冷たいところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの直接冷風のあたるところ。
- 湿気の多いところ。



■本機(HR-D725)には“つゆつき”防止回路が内蔵されています。

“つゆつき”防止回路は、お部屋の温度に応じてヘッドドラムを自動的に温め、“つゆつき”現象を起こしにくくしています。

- この“つゆつき”防止回路は、[POWER]スイッチが「OFF」で電源プラグがコンセントに差し込んであれば、作動します。

- “つゆつき”防止回路動作中は、少ない消費電力ですが、ご旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

★ご注意

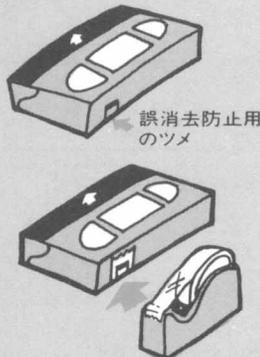
■“つゆつき”防止回路は、コンセントに電源プラグを差し込んでも、すぐには動きません。

“つゆつき”防止回路は、電源プラグをコンセントに差し込んでも、急激に水滴を蒸発させることができません。寒いところから温かいお部屋に移動されたときなど、ビデオが“つゆつき”になりやすい状態にあるときは、電源

プラグをコンセントに差し込んで本機前面の[POWER]スイッチを「OFF」にして、数時間ほど待ってご使用ください。

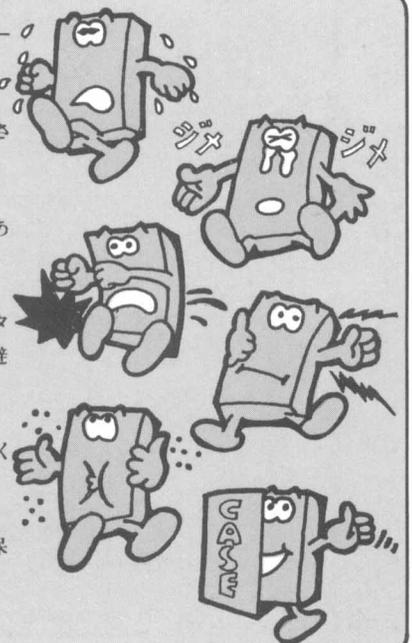
■ビデオカセットについて

- ビデオカセットは[VHS]タイプをおつかいください。
- 録画済みテープに新しく録画するときは、前の画と音は、自動的に消されながら記録されます。
- カセットには、誤消去防止用のツメがついています。消したくないカセットはツメを折っておくと安心です。また、ツメの折れているカセットで録画するときは、ツメの部分にセロハンテープを貼っておつかいください。
- カセットは、うらがえしてはつかえません。また、テープを走行させないで、カセットを何回も出し入れしないでください。
- 録画し終わったときや、再生したあとは、テープをはじめまで巻戻しておきましょう。



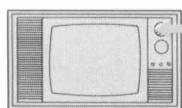
■ビデオカセットの保管上の注意

- 直射日光のあたる場所や、ストーブなどのそばは避けてください。
- 湿気の多いところは避けてください。
- 落したり、強い振動、ショックをあたえないでください。
- 強い磁気の発生するところ(モーター、トランス、磁石)での保管は避けてください。
- ほこりやチリの多いところは避けてください。
- カセットケースに入れて、立てて保管してください。

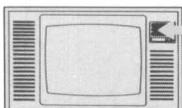


1 RFコンバーターのチャンネルを合わせます。

RFコンバーターは、テープに録画される信号(映像と音声)やテープから再生される信号をテレビ放送の電波と同じ信号に変換する装置です。このRFコンバーターでつくられた電波は、放送されていない空チャンネル(東京なら2チャンネル、大阪なら1チャンネル)を利用してテレビにうつしだされます。

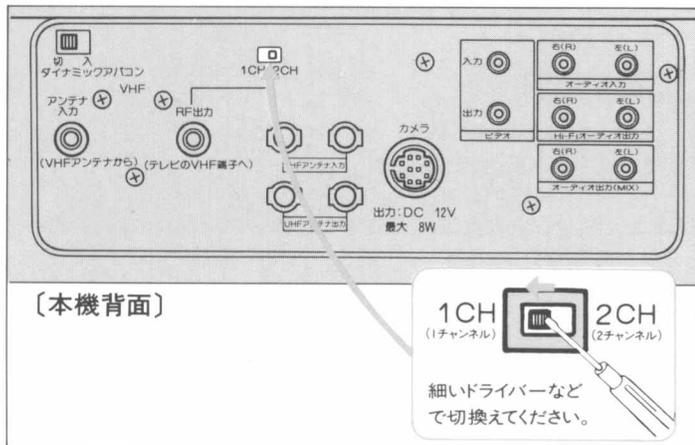


1チャンネル、または2チャンネルがビデオのチャンネルです。



電子チューナーで10局しか選局できない場合は、10局のうちひとつをビデオチャンネル(1)か(2)にします。

RFコンバーターのチャンネルは、工場から出荷される時、2チャンネル(CH-2)にセットされています。2チャンネルに放送局がある地域は、1チャンネル(CH-1)にRFコンバーターを切換えてください。

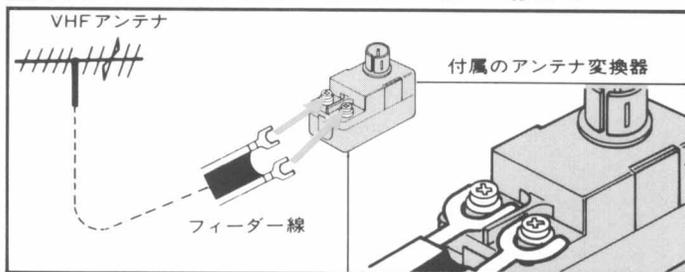


2 テレビのアンテナ線ははずし VHFアンテナ線を加工します。

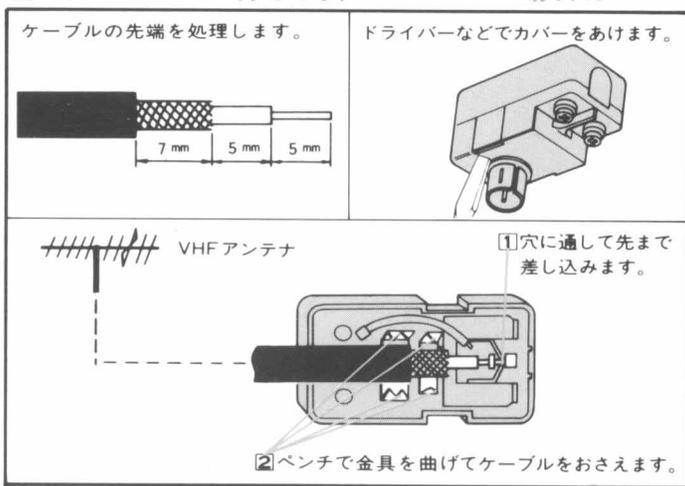
アンテナ線には、VHF(1~12チャンネルまでの受信用)アンテナとUHF(13~62チャンネルまでの受信用)アンテナがあります。

UHFアンテナ線は加工しないでください。

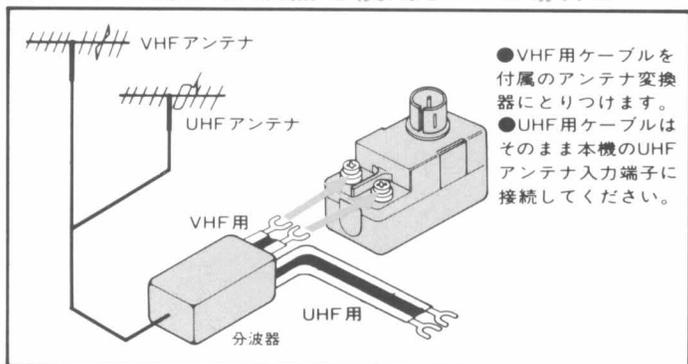
■VHFアンテナ線がフィーダー線の場合は



■VHFアンテナ線が同軸ケーブルの場合は



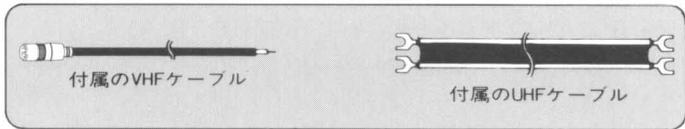
■アンテナ線に分波器を使用している場合は



3 ビデオとテレビを図のように つなぎます。

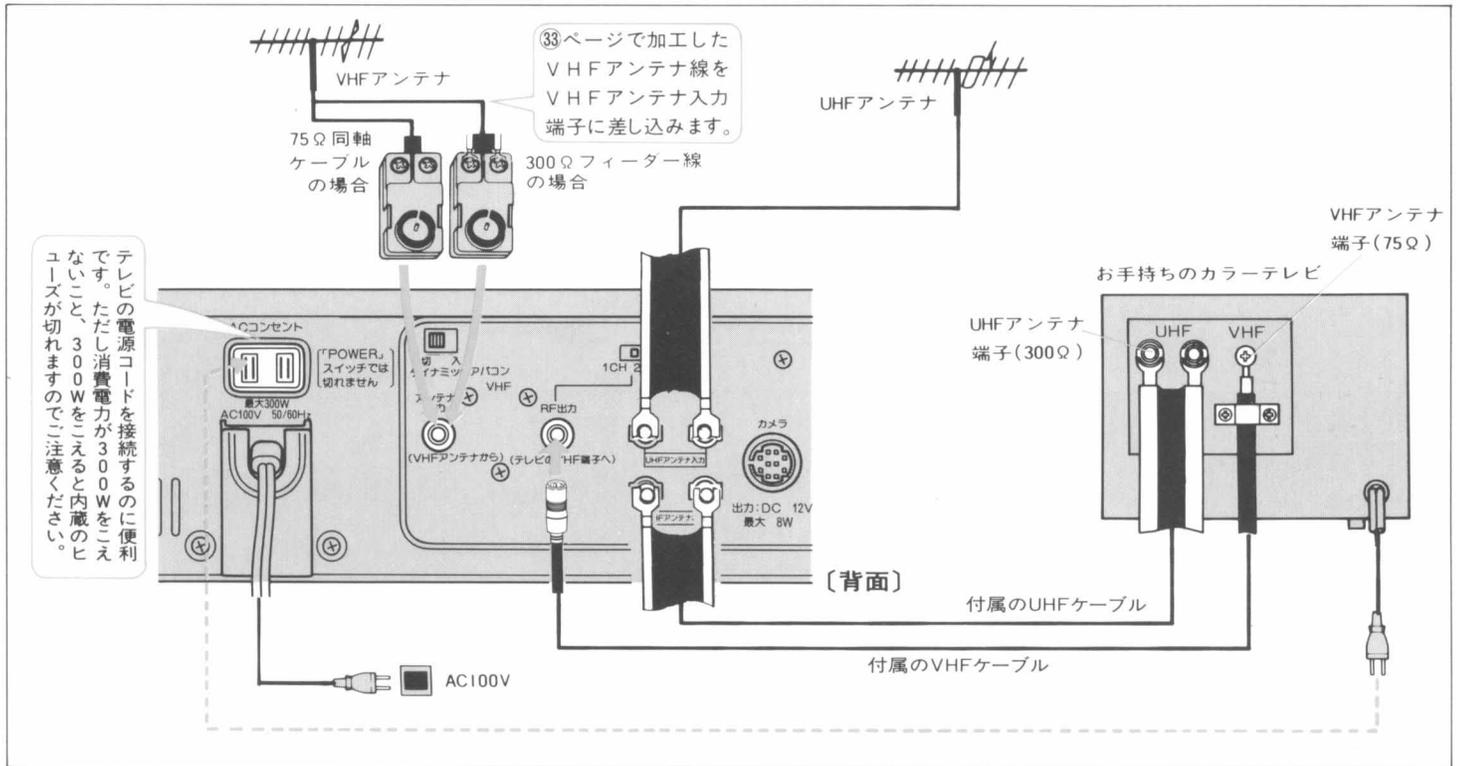
ビデオもテレビと同じようにアンテナの条件が悪いと、きれいな画質で録画・再生できません。正しく接続してください。

■付属のVHFケーブルとUHFケーブルを用意してください。

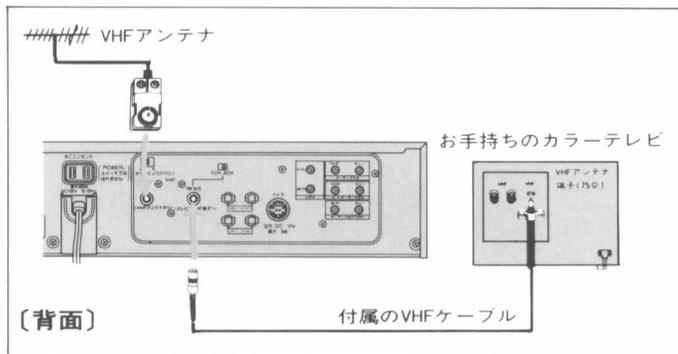


■電波の弱い地域では、ビデオを接続すると画質が悪くなる場合があります。

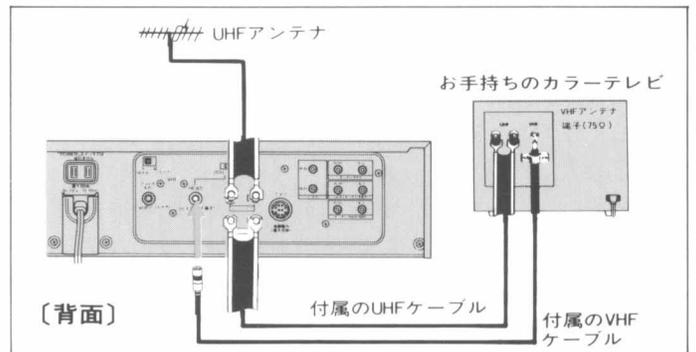
とくに電波の弱い地域では、ビデオを接続すると画質が悪くなる場合があります。これは、1本のアンテナをビデオとテレビにわけたためです。美しい画像が得られない場合は、ブースター（市販の別売り）をご利用ください。ブースターのご用命はご面倒でも、販売店もしくは最寄りのビクターサービスセンターにお問い合わせください。



●VHF放送だけ受信の地域



●UHF放送だけ受信の地域



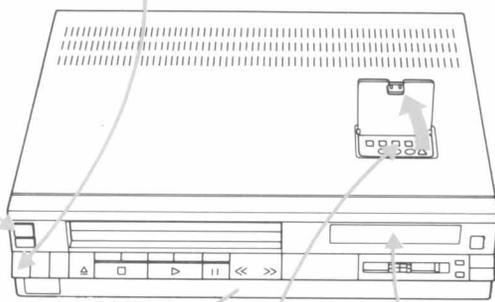
37 チャンネルプリセットの合わせかた (39ページもお読みください)

- 操作時は[TIMER]スイッチを「**OFF**」にしてください。
- チャンネルプリセットの前に、現在時刻を合わせてください。(くわしくは7ページをご覧ください)

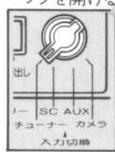
1 (POWER)スイッチを押して電源を入れる
[POWER]ランプが点灯

2 (VIDEO/TV)ボタンを押してビデオランプをつける

3 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)が(2)にする
A/V端子付テレビと接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをビデオにする



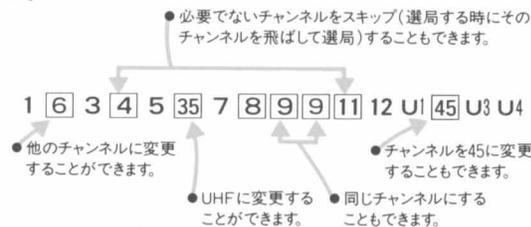
4 入力切換スイッチを「チューナー」にする



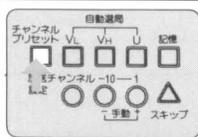
- プリセット番号は1～16まであります。
- 工場出荷時はプリセット番号1～16に次のようなチャンネルが受信できるように調整されています。

プリセット番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
受信可能チャンネル 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 U1 U2 U3 U4

- [CHANNEL]選局ボタンを押すと1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,U1,U2,U3,U4とチャンネル表示が変わります。1～12のチャンネルはそのまま放送局を受信することができますが、U1,U2,U3,U4のチャンネルはUHFの放送局にあわせてありませんのでチャンネルプリセット調整をしてください。



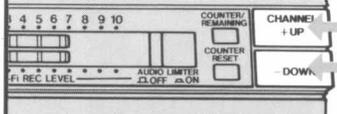
5 チャンネルプリセットボタンを押す
表示部に「プリセット」が点灯



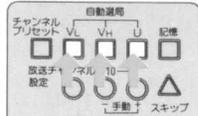
チャンネル表示部

チャンネルプリセットボタンを押してから1分以上他のボタンが押されないと、自動的にチャンネル表示に戻ります。

6 (CHANNEL)選局ボタンで変えたいプリセット番号を選ぶ
(プリセット番号は1～16まであります)



7 自動選局ボタンを押して合わせたいチャンネル(VL・VH・U)を選ぶ



VLボタンを押す

1～3チャンネルのうち、どれかに合わせるができます。

Uボタンを押す

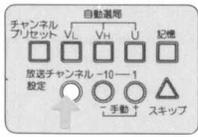
13～62チャンネルのうち、どれかに合わせるができます。

VHボタンを押す

4～12チャンネルのうち、どれかに合わせるができます。

アンテナの受信状態によっては7の自動選局ができないことがあります。このような時は手動ボタンを押して、合わせたい番組に手動で合わせます。

8 放送チャンネル設定ボタンを押す
チャンネル表示部が点滅



たとえば6チャンネルにする

▼10ボタンを押し10の位を消す。

▼さらに1ボタンを押し、6に合わせます

▼さらに1ボタンを押し、6に合わせます

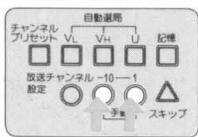
たとえば45チャンネルにする

▼10ボタンを押し40にする

▼さらに1ボタンを押し5に合わせます

▼さらに1ボタンを押し、5に合わせます

9 合わせた放送局のチャンネル番号に10ボタンと1ボタンで合わせる



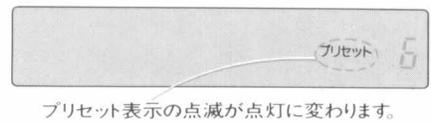
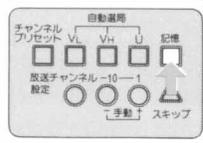
■10ボタンを押しつづけると

→10・20・30・40・50・60・70・80・90・U0・□と変化する

■1ボタンを押しつづけると

→1→2・3・4・5・6・7・8・9・0と変化する

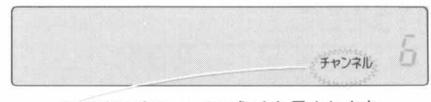
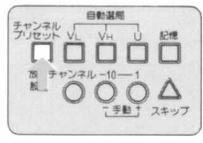
10 チャンネルを合わせたら記憶ボタンを数秒間押す



プリセット表示の点滅が点灯に変わります。

これでチャンネルプリセットが完了しました。
 I ~ II をくり返して、他のプリセット番号にもプリセットする。

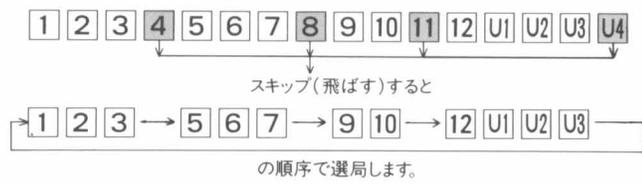
11 すべてのプリセットを完了後はチャンネルプリセットボタンを押す



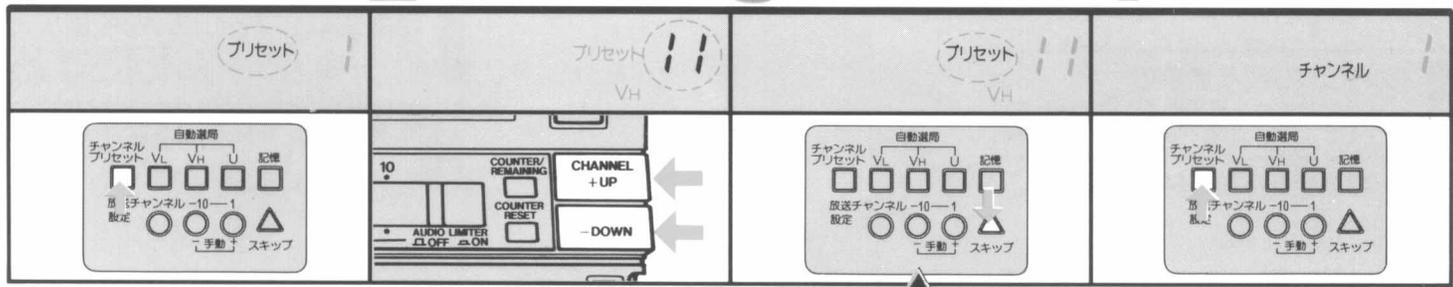
表示部に「チャンネル」が表示されます。

スキップモードについて

プリセット番号の1~16のうち、必要のないチャンネルをスキップ(飛ばす)モードにすると便利です。スキップモードにすると選局する時にそのチャンネルを飛ばして(■)選局できます。ワイヤレスリモコンも使用できます。



- 1 チャンネルプリセットボタンを押す
- 2 (チャンネル)選局ボタンで飛ばしたいプリセット番号を選ぶ
- 3 スキップボタンを押す
- 4 チャンネルプリセットボタンを押す



2~3 をくり返せば他の必要でないチャンネルもスキップすることができます。
 スキップモードの解除については再度チャンネルプリセットをしてください。

39 チャンネルプリセットの例

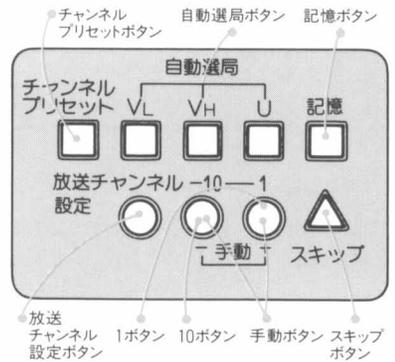
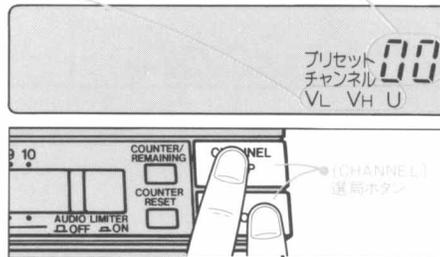
たとえば工場出荷時のチャンネル4を、6チャンネルに変更し、

7チャンネルをスキップし、U3を45チャンネルにするには

- 1 (電源)スイッチを押して電源を入れる
[POWER]ランプが点灯
- 2 (ビデオ/テレビ)ボタンを押して、ビデオランプを点灯させる
- 3 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)か(2)にする (A/V端子付テレビと接続のときは、テレビのビデオ/テレビボタンをビデオにする。)
- 4 入力切換スイッチを「チューナー」にする
- 5 チャンネルプリセットボタンを押す

プリセット番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
工場出荷時のチャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	U1	U2	U3	U4
変更後	1	2	3	6	5	6	スキップ	8	9	10	11	12	U1	U2	45	U4

バンド表示 受信チャンネル番号/プリセット番号表示部



出荷時の4を6チャンネルに変更する

- 6 (チャンネル)選局ボタンを押してプリセット番号4を呼び出す
- 7 VHボタンを押して、6チャンネルの放送局に合わせる
(VHは4~12までのチャンネルに合わせることができる)
(微調整をする場合は手動ボタン(+)を押して合わせます)
- 8 放送チャンネル設定ボタンを押す
- 9 1ボタンを押して表示の4を6にする
- 10 記憶ボタンを数秒間押す
(これで4を6に変更できます)

他のチャンネルも同じように変更することができます。

7チャンネルをスキップする

- 6 (チャンネル)選局ボタンを押してプリセット番号7を呼び出す
- 7 スキップボタンを押す

他のチャンネルも同じようにスキップすることができます。

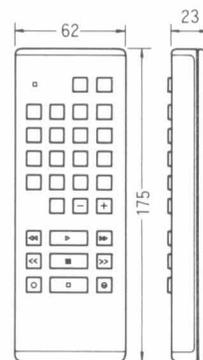
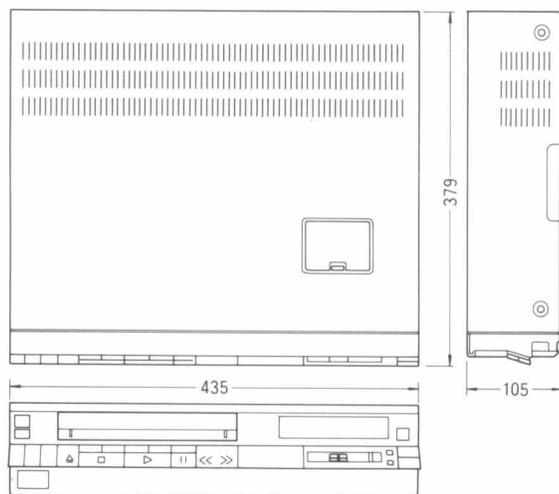
U3を45チャンネルにするには

- 6 (チャンネル)選局ボタンを押してプリセット番号15を呼び出す
- 7 Uボタンを押して45チャンネルの放送局に合わせる
(Uは13~62チャンネルまで合わせることができます)
- 8 放送チャンネル設定ボタンを押す
- 9 10ボタンと1ボタンを押して表示を45にする
- 10 記憶ボタンを数秒間押す
(これでU3を45チャンネルにすることができます)

他のチャンネルも同じようにUHFに変更することができます。また、表示も変えることができます。

プリセット調整が終わったら
チャンネルプリセットボタンを押して、プリセット表示を消しチャンネル表示にする。

- 録画方式：輝度信号FM方式
色信号低域変換直接記録方式 VHS規格
- ハイファイ録音方式：ステレオハイファイVHS規格 深層記録方式
- 音声トラック：ハイファイ音声トラック…2チャンネル
ノーマル音声トラック…2チャンネル
- 映像信号：NTSC日米標準信号
- 使用カセット：VHS方式 1/2インチカセットテープ
- テープ速度：標準モード 33.4mm/sec
3倍モード 11.1mm/sec
- 最大録画再生時間：標準モード 2時間40分 (T-160使用時)
3倍モード 8時間 (T-160使用時)
- 受信チャンネル：VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
- 受信方式：スプリットキャリア方式
- 映像入力：0.5～2.0Vp-p (75Ω不平衡)
- 映像出力：1.0Vp-p (75Ω不平衡)
- 音声入力：-8dBs (50KΩ)
- マイク入力：-67dBs (10KΩ)
- 音声出力：-6dBs (1KΩ)
- ヘッドホン出力：8Ω～1KΩ (出力レベル切換^H -26dBs、^L -32dB…8Ωのヘッドホン接続時)



ワイヤレスリモートコントローラー (付属)

〈ハイファイ音声特性〉

- 音声周波数特性：20～20,000Hz
- ダイナミックレンジ：80dB以上
- ワウ・フラッター：0.005% WRMS以下
- 電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：35W (カメラ撮影時45W)
- 外形寸法：435 (幅) × 105 (高さ) × 379 (奥行) mm
- 重量：9.4kg
- 付属品：VHFケーブル×1 (1.5m)
UHFケーブル×1 (1.5m)
シグナルコード×1 (1.5m)
アンテナ変換器×1
ワイヤレスリモートコントローラー×1
乾電池 (単三) × 2

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更
することがありますのでご了承ください。

	症状	●原因 ■処置	頁
電源が入らない／テープが止まる	テレビとビデオの電源が入らない	●ビデオの電源コードが、はずれている ■電源コードをしっかりと差し込みます	・
	ビデオの電源が入らない	● ^{タイマー} (TIMER)スイッチが「 ^入 ON」になっていませんか ■「 ^切 OFF」にしてください	・
	録画中にテープが巻きとれない	● ^{一時停止} (PAUSE)／ ^{静止} (STILL)ボタンが押されていませんか ■再生ボタンを押してください	⑬
	巻戻し、早送りの途中でテープが止まる	●メモリースイッチがはたらいていませんか ■一度メモリースイッチを「切」にし、巻戻し、早送りボタンを押してください	⑳
	巻戻し、早送りができない	●カセットが早送り、巻戻しを完了していませんか ■カセットを確かめてください	・
録画ができない	録画ができない	●カセットテープは入っていますか ■カセットテープを正しく入れます ●カセットのツメはついていますか ■ツメのないカセットはツメの部分にセロハンテープを貼ってください	⑧ ⑬ ⑧ ⑳
	テレビ番組が録画できない	●入力切換スイッチが「AUX」になっていませんか ■入力切換スイッチを「チューナー」にしてください	⑬ ⑭
	カメラの録画ができない	●カメラ端子に正しくカメラが接続されていますか ■もう一度確かめてください ●入力切換スイッチが「カメラ」になっていませんか ■入力切換スイッチを「カメラ」にしてください	⑳ ㉑ ㉒
	2ヶ国語放送が録音できない	●二重音声(録音)スイッチは「主/副」になっていますか ■「主/副」にしてください。(日本語と外国語を録音) 「主」…日本語放送だけを録音 「副」…外国語放送だけを録音	⑩

	症状	●原因 ■処置	頁
録画ができない	サイマルキャスト記録ができない	●入力切換スイッチが「SC」になっていませんか ●オーディオ入力端子にオーディオ機器が接続されていますか ■もう一度確かめて、正しくセットしてください	⑰ ⑱
	タイマー録画ができない	●時計の時刻と録画時間は正しくセットされていますか ■もう一度確かめてください ● ^{タイマー} (TIMER)スイッチは「 ^切 OFF」になっていませんか ■「 ^入 ON」にしてください	⑦ ⑱ ㉒
再生するとおかしい	テープはまわっているがカセットの再生ができない	●テレビのチャンネルはビデオ専用チャンネル(1)か(2)になっていますか ■(1)か(2)チャンネルにします	⑮
	シャトルサーチ、静止画再生時に、画面にノイズがでる	性能上の問題で故障ではありません	⑮
	再生画面の一部にノイズがでる	●トラッキング再生つまみは合っていますか ■ゆっくりまわして、きれいになるように調整してください	⑮
	テレビはきれいにうつるが再生するとザラザラした画面になったり、画が消えてしまう	●ヘッドにゴミがたまっているかもしれません ■ビデオのヘッドをクリーニングします。 ごめんどうでもお買上げの販売店か、お近くのビクターサービス窓口までご相談ください	・
	再生のとき録画した番組とちがった音が聞こえる	●マイクを差し込んだまま録画していませんか ■マイクを抜いてください	・
	接続したオーディオ機器から、ノーマル音声が生再生されない	●Hi-Fiオーディオ出力端子に接続していませんか ■オーディオミックス出力端子に接続してください	⑪ ⑳
アフレコができない	●カセットのツメはついていますか ■ツメのないカセットはツメの部分にセロハンテープを貼ってください。	⑳	

	症 状	●原因 ■処置	頁
Hi-Fi 音声がおかしい	Hi-Fi音声トラックにテレビの音声録音できない	●入力切換スイッチが「SC」になっていませんか ■「チューナー」にしてください	(17) ~ (18)
	Hi-Fi音声トラックの音が飛ぶ	●トラッキング再生つまみは合っていますか ■ゆっくりまわして、きれいな音になるように調整してください ●記録時のレベル調整は適正でしたか ■記録時の音声録音レベルオーバーが原因です。レベルメーターがふりきれないように調整してください。くわしくは12ページをご覧ください	(12) (15)
	Hi-Fi音声トラックの音が再生されない	●ミックスつまみが左いっぱいになっていませんか ■中央または右に合わせてください	(11) (15)
	Hi-Fiレベルメーターがふれない	●オーディオリミッター(AUDIO LIMITER)スイッチが「 <input checked="" type="checkbox"/> ON」になっていませんか ■「 <input type="checkbox"/> OFF」にしてください。	(12)
テレビから「ピーッ」「ウーン」という音がでる	●カメラやマイクがテレビに近づきすぎていませんか ■テレビからカメラやマイクを離してください	(24)	
	●テレビのボリュームは大きくありませんか ■ボリュームをさげてください	(24)	

ご購入時、あるいは停電などの後にテレビ放送が受信できなくなったり、チャンネル表示が異常な場合は本機上面のフタの中の〔チャンネルプリセット〕ボタンを2度押してください。

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。

本機が正常に操作できなくなった場合は、前面の〔POWER〕スイッチを「 OFF」にし、電源コードをコンセントから一度抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源コードをコンセントから一度抜いて、あらためてコンセントに差し込み、〔POWER〕スイッチを「 ON」にし、一度カセットを取り出し、カセットを確認してからあらためて操作してください。

	症 状	●原因 ■処置	頁
	日本語と外国語がミックスされて聞こえる	■音声出力モニタースイッチで聞きたい音声を選択してください	(11) (15)
	時計合わせができない	●電源(Power)スイッチを「 <input type="checkbox"/> ON」にしてください ■(TIMER)スイッチを「 <input checked="" type="checkbox"/> OFF」にしてください	(7)
	記録、再生、早送り、巻戻し中にテープ走行音がする	●ビデオは、モーターや回転ヘッドをつかってテープに記録・再生をしていますので、使用中は走行音が発生しますが故障ではありません ■気になるときは市販のラックなどに収納してご使用ください	

■ビデオが異常のときは、!

ビデオから異常な音や、煙がでるとき。また、画が写らなくなってしまったときなどは、すぐに電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、あるいはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

■保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■保証期間について

保証期間は、お買上げ日より、1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこのビデオカセットの補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年保有しています。

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。

■修理を依頼されるときは

- 1 まず、41～42ページの“こんなときは”の項をよくお読みのうえ、再度お調べください。
- 2 それでも具合の悪いときは、お買上げ販売店に次のことをお知らせください。
 - ビクターステレオハイファイビデオカセットHR-D725
 - お名前とおとこ
 - 電話番号
 - 故障症状(詳しく)

■ビデオが異常のときは、

ビデオから異常な音や、煙がでるとき。また、画が写らなくなってしまうときなどは、すぐに電源コードをコンセントから抜いてお買上げの販売店、あるいはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。



■カラービデオカメラ

GX-S9
¥218,000



■コンパクトビデオカメラ

GZ-S5
¥238,000



■コンパクトビデオカメラ

GZ-S3
¥178,000



■**VHS**ビデオカセットテープ

スタンダードタイプ

- T-160 (160分用)
- T-120 (120分用)
- T-90 (90分用)
- T-60 (60分用)
- T-40 (40分用)
- T-30 (30分用)
- T-20 (20分用)

スーパーHGタイプ

- T-120スーパーHG (120分用)
- T-80スーパーHG (80分用)
- T-60スーパーHG (60分用)
- T-40スーパーHG (40分用)
- T-30スーパーHG (30分用)
- T-20スーパーHG (20分用)

※**VHS**ビクタービデオテープは3倍モード付きビデオにも使用できます。
 ※**VHS**ビクタービデオテープは**VHS**マークのついた日立製作所・三菱電機・シャープ・赤井電機・松下電器産業・日本ビクター各社(順不同)製造のビデオにご使用になれます。



■ヘッドホン

HP-M50
¥4,800



■カメラ延長ケーブル

VC-235-10
(10m)
¥7,000



お近くのビクタービデオセンターVIC
にお立寄りください。

ビクタービデオセンターVIC札幌	011-271-9360(直)	〒060 札幌市中央区北3条西1-1-7
ビクタービデオセンターVIC青森	0177-77-8315(直)	〒030 青森市大字浦町字奥野68-1
ビクタービデオセンターVIC仙台	0222-25-6798(直)	〒980 仙台市本町1-11-12
ビクタービデオセンターVIC東京	03-580-4264(直)	〒100 東京都千代田区霞が関3-2-4(霞山ビル)
ビクタービデオセンターVIC千葉	0472-44-9740(直)	〒260 千葉市幸町2-1-1
ビクタービデオセンターVIC宇都宮	0286-33-9896(直)	〒320 宇都宮市住吉町17-9
ビクタービデオセンターVIC新潟	0252-41-6941(直)	〒950 新潟市明石1-2-19
ビクタービデオセンターVIC信州	0263-27-0961(直)	〒390 松本市鎌田5111
ビクタービデオセンターVIC横浜	045-641-9837(直)	〒231 横浜市中区翁町1-3-1
ビクタービデオセンターVIC静岡	0542-81-7697(直)	〒422 静岡市曲金6-5-28
ビクタービデオセンターVIC名古屋	052-775-4481(直)	〒465 名古屋市名東区社台3-9
ビクタービデオセンターVIC金沢	0762-23-6816(直)	〒920 金沢市長土塀2-1-27
ビクタービデオセンターVIC京都	075-313-2106(直)	〒600 京都市下京区西大路通七条下ル御所の内北町91
ビクタービデオセンターVIC大阪	06-768-0747(直)	〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16
ビクタービデオセンターVIC神戸	078-232-3028(直)	〒651 神戸市中央区磯上通3-2-16
ビクタービデオセンターVIC広島	082-249-2538(直)	〒730 広島市中区東平塚町3-26
ビクタービデオセンターVIC松山	0899-22-3032(直)	〒790 松山市中央1-401-2
ビクタービデオセンターVIC福岡	092-473-7843(直)	〒812 福岡市博多区博多駅前4-16-1
ビクタービデオセンターVIC熊本	096-356-9599(直)	〒860 熊本市本山町655

日本ビクター株式会社 ビデオ事業部

所在地 〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)453-1111(代表)

お問合せ先 ビクターインフォメーションセンター

〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号 電話 (03)580-2861